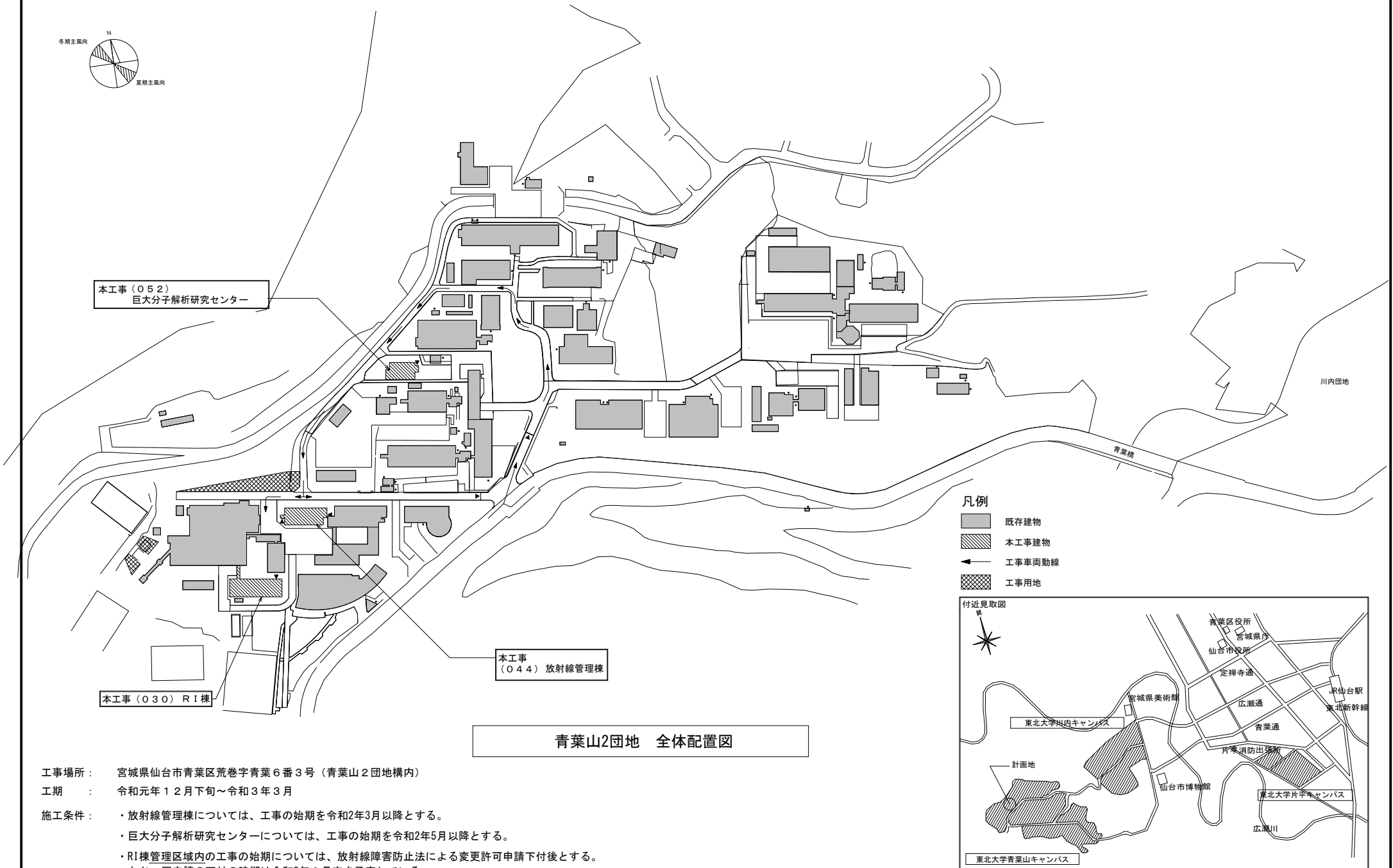
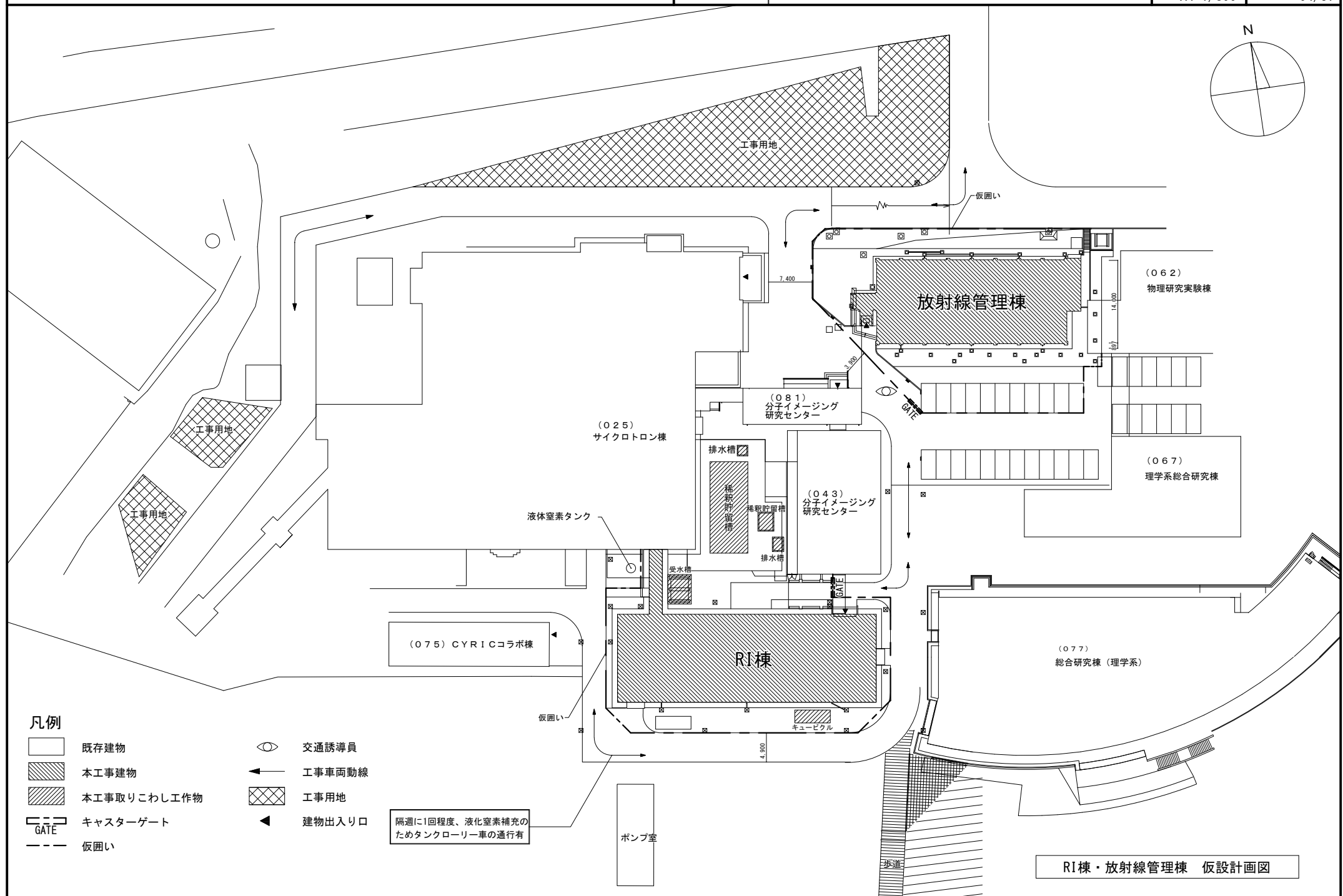
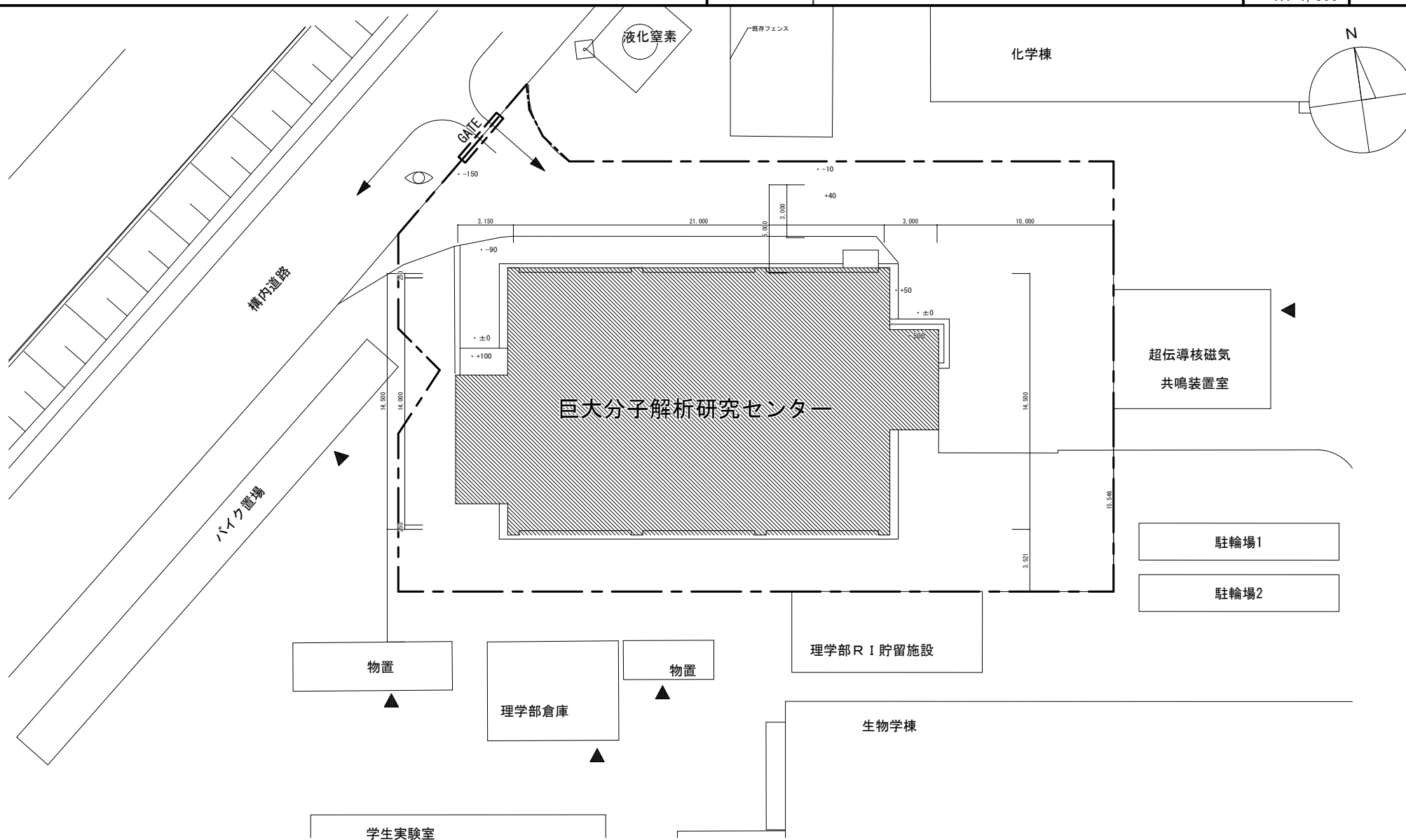




棟 名 称	R I 棟(放射線障害防止法における非密封R I 取扱施設)			
	本 体		渡り廊下	
構造・階数	R C 造・地上 3 階		S 造・2 階	
建築面積	669.04㎡			
延床面積	2,016.59㎡			
改修内容	○外部仕上（別途工事）			
	・屋根	既存保護アスファルト防水の上、シート防水新設(POS工法)	・屋根	既存シート防水撤去の上、シート防水新設(S3S工法)
	・サッシ	既存アルミサッシ撤去の上、アルミサッシ新設	・サッシ	既存アルミサッシ撤去の上、アルミサッシ新設
	・外壁	既存塗膜高圧水洗工法処理、クラック部改修の上、可とう形改修塗材 R E	・外壁	既存塗膜高圧水洗工法処理、クラック部改修の上、可とう形改修塗材 R E
	○内部仕上（別途工事）			
	・床	既存ビニル床シート撤去の上、ビニル床シート新設	・床	既存ビニル床シート撤去の上、ビニル床シート新設
	・壁	既存仕上面のまま、軽量鉄骨下地+石膏ボード+EP-G	・壁	既存仕上面のまま、軽量鉄骨下地+石膏ボード+EP-G
	・天井	既存仕上面（下地共）撤去。下地新設の上、EP-G	・天井	既存仕上面（下地共）撤去。下地新設の上、EP-G
	・建具	既存建具撤去の上、建具新設		
	○搬送設備（別途工事）			
		シャフト、EV機器共 全て撤去・新設 (積載荷重 750kg/11人乗り) 定格速度60m/min)		
	○外構（別途工事）			
		ネットフェンス、アスファルト舗装、屋外設備基礎等新設、貯留槽撤去		
主要諸室	実験室、研究室			
そ の 他	○電気設備 (本工事)	電灯設備/動力設備/受変電設備 構内情報通信網設備/構内交換設備 火災報知設備 構内通信線路 / 構内配電線路		
	○機械設備 (別途工事)	空気調和設備（中央ダクト方式）/換気設備 給排水衛生設備/消火設備/都市ガス設備 浄化槽設備/R I 排水処理設備/自動制御設備		

東北大学（青葉山２）放射線管理棟等改修その他電気設備工事				図面名称	工事概要（放射線管理棟、巨大分子解析研究センター）		縮尺	-	図面番号	03/37	
棟 名 称	放射線管理棟（旧惑星プラズマ・大気研究センター）				巨大分子解析研究センター						
構造・階数	ＲＣ造・地上４階				ＲＣ造・地上４階						
建築面積	484.45㎡				333.287						
延床面積	1,530.63㎡				1,051.03㎡						
改修内容	○外部仕上（別途工事）										
	・屋根	既存ウレタン防水非撤去の上、シート防水断熱工法新設				・屋根	既存改質アスファルトシート防水非撤去の上、シート防水断熱工法(M4SI工法)				
	・サッシ	既存アルミサッシ撤去の上、アルミサッシ新設				・サッシ	既存アルミサッシ撤去の上、アルミサッシ新設				
	・外壁	既存塗膜高圧水洗工法処理、クラック部改修の上、可とう形改修塗材ＲＥ				・外壁	磁器質タイル貼り(小口平)浮き部改修。既存塗膜高圧水洗工法処理の上、可とう形改修塗材ＲＥ				
	○内部仕上（別途工事）										
	・床	既存ビニル床シート撤去の上、ビニル床シート新設				・床	既存ビニル床シート撤去の上、ビニル床シート新設				
	・壁	既存塗膜下地調整(RB種)の上、EP 一部（新規放射線管理区域）既存仕上面のまま、 軽量鉄骨下地+石膏ボード+EP-G				・壁	既存塗膜下地調整(RB種)の上、EP				
	・天井	既存仕上材(下地共)撤去。下地新設の上、化粧石膏ボード貼り				・天井	既存仕上材(下地共)撤去。下地新設の上、化粧石膏ボード貼り				
	・建具	既存建具撤去の上、建具新設				・建具	既存建具撤去の上、建具新設				
	・その他	RI貯蔵箱新設				・その他	スラブ補強、磁気シールド				
主要諸室	○搬送設備（別途工事）										
	シャフト、EV機器共新設 （積載荷重 750kg/11人乗り） 定格速度60m/min)				既存のまま						
	○外構（別途工事）										
そ の 他	ネットフェンス、アスファルト舗装、芝張り				アスファルト舗装						
	実験室、研究室				実験室、研究室						
そ の 他	○電気設備 （本工事）	電灯設備/動力設備/受変電設備 構内情報通信網設備/構内交換設備 火災報知設備 構内通信線路 /構内配電線路				○電気設備 （本工事）	電灯設備/動力設備/受変電設備 構内情報通信網設備/構内交換設備 火災報知設備 構内通信線路 /構内配電線路				
	○機械設備 （別途工事）	空気調和設備（中央ダクト方式）/換気設備 給排水衛生設備/都市ガス設備/消火設備 ＲＩ排水処理設備/特殊ガス設備/自動制御設備				○機械設備 （別途工事）	空気調和設備/換気設備 給排水衛生設備/都市ガス設備 特殊ガス設備/自動制御設備				



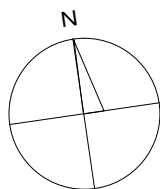
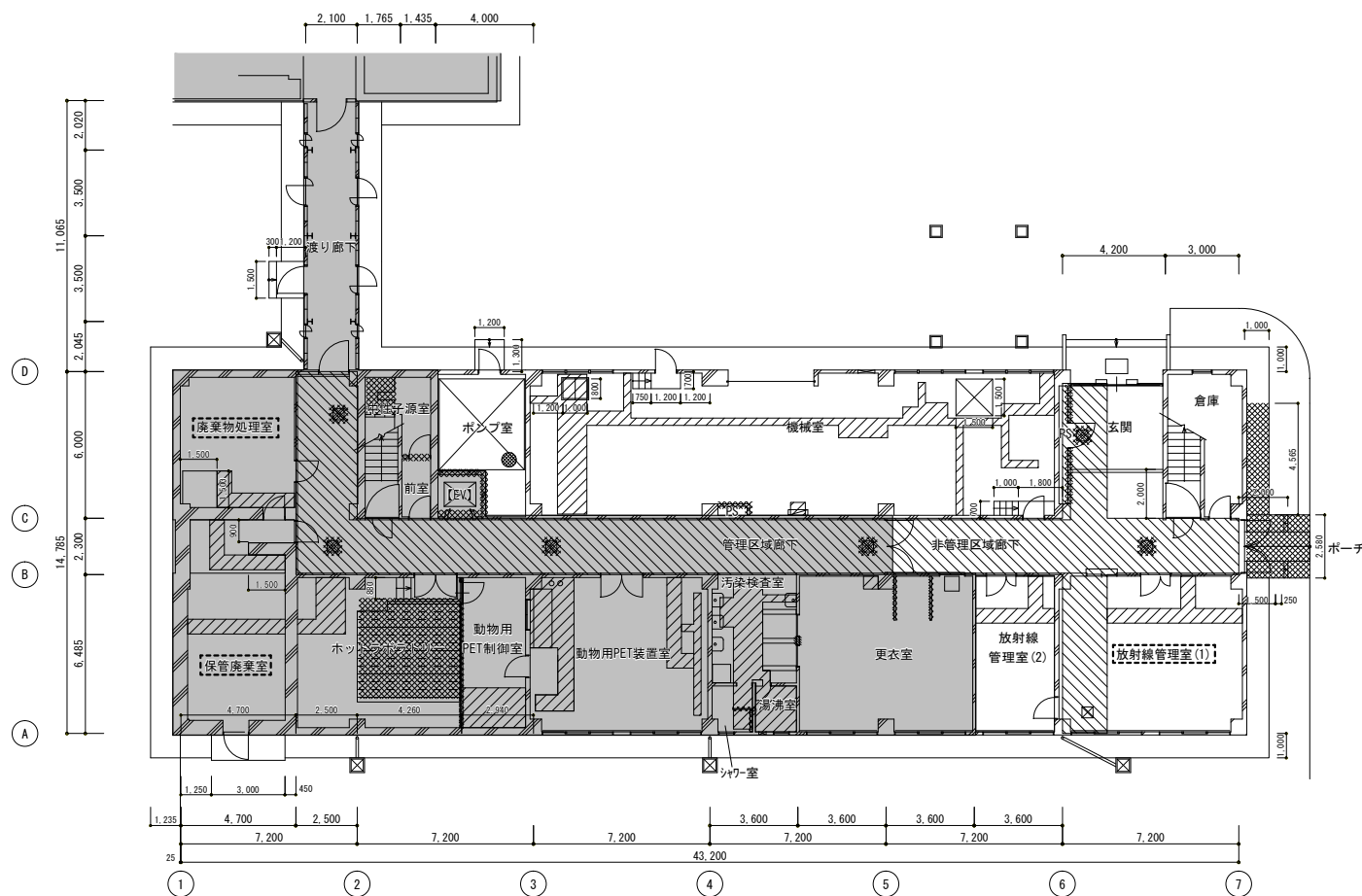


凡例

- 既存建物
- 本工事建物
- 建物出入り口
- キャスターゲート

- 仮囲い
- 工事車両動線
- 交通誘導員

巨大分子解析研究センター 仮設計画図



凡例

XXXXXXXX 撤去範圍

 土間コンクリート撤去

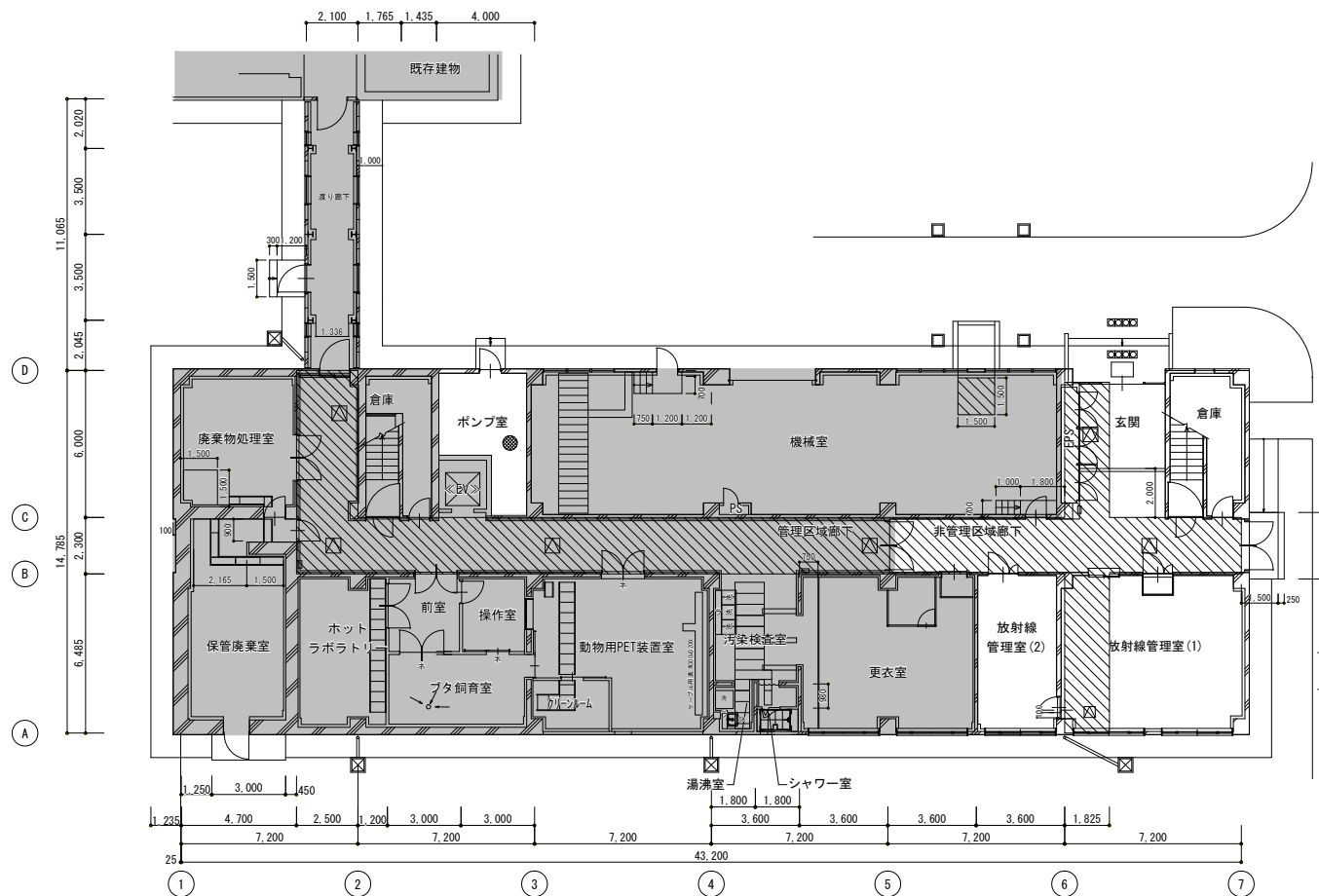
 既存床下ピット

管理区域

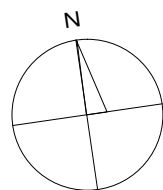
工事期間中も研究機器等が残置される部屋

改修前1階平面図

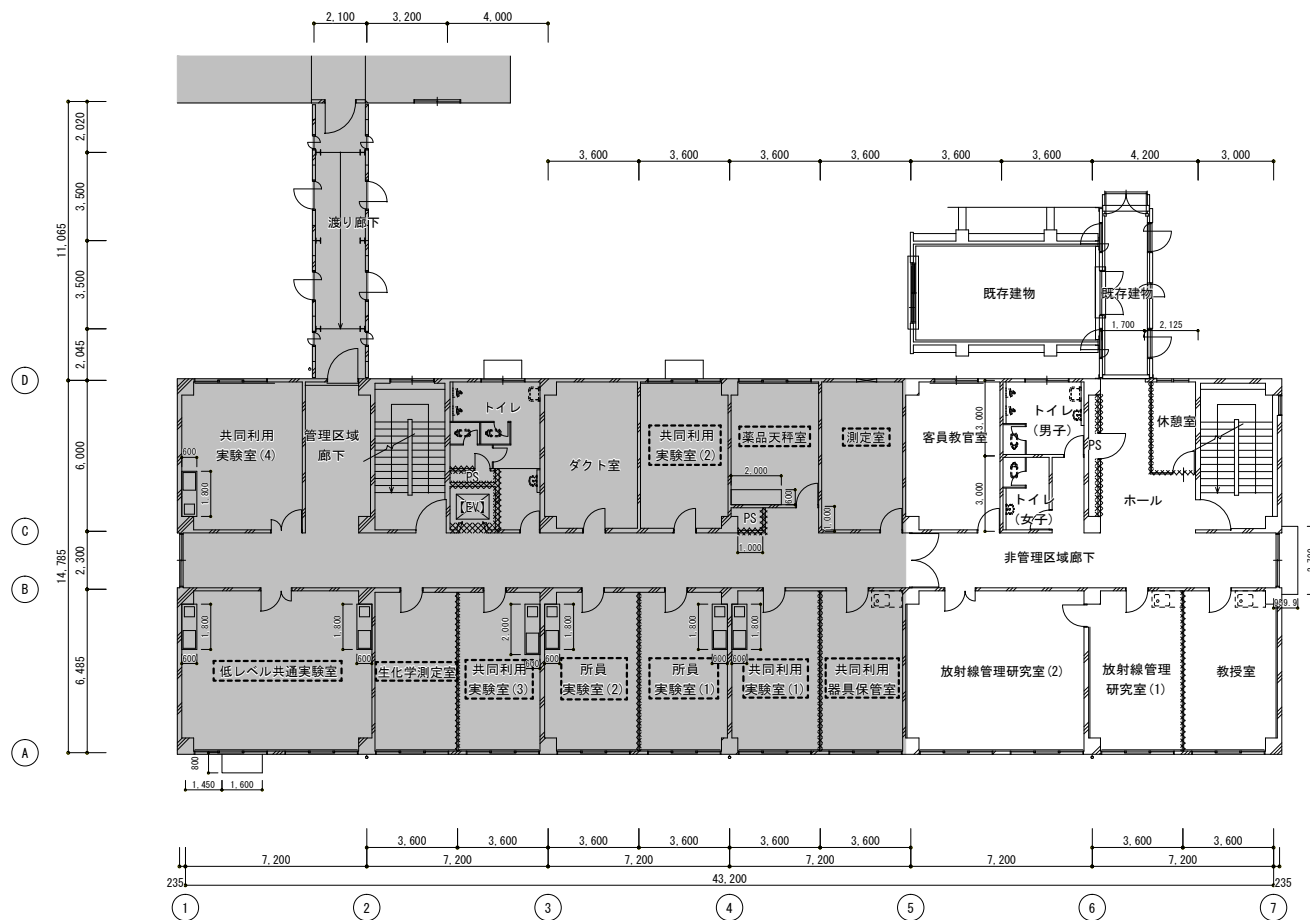
※RI棟については既に放射線障害防止法による非密封RI取扱施設であるため、管理区域内の作業については、放射線取扱主任者もしくは放射線管理要員の指示に従うこと。



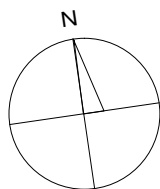
改修後1階平面図



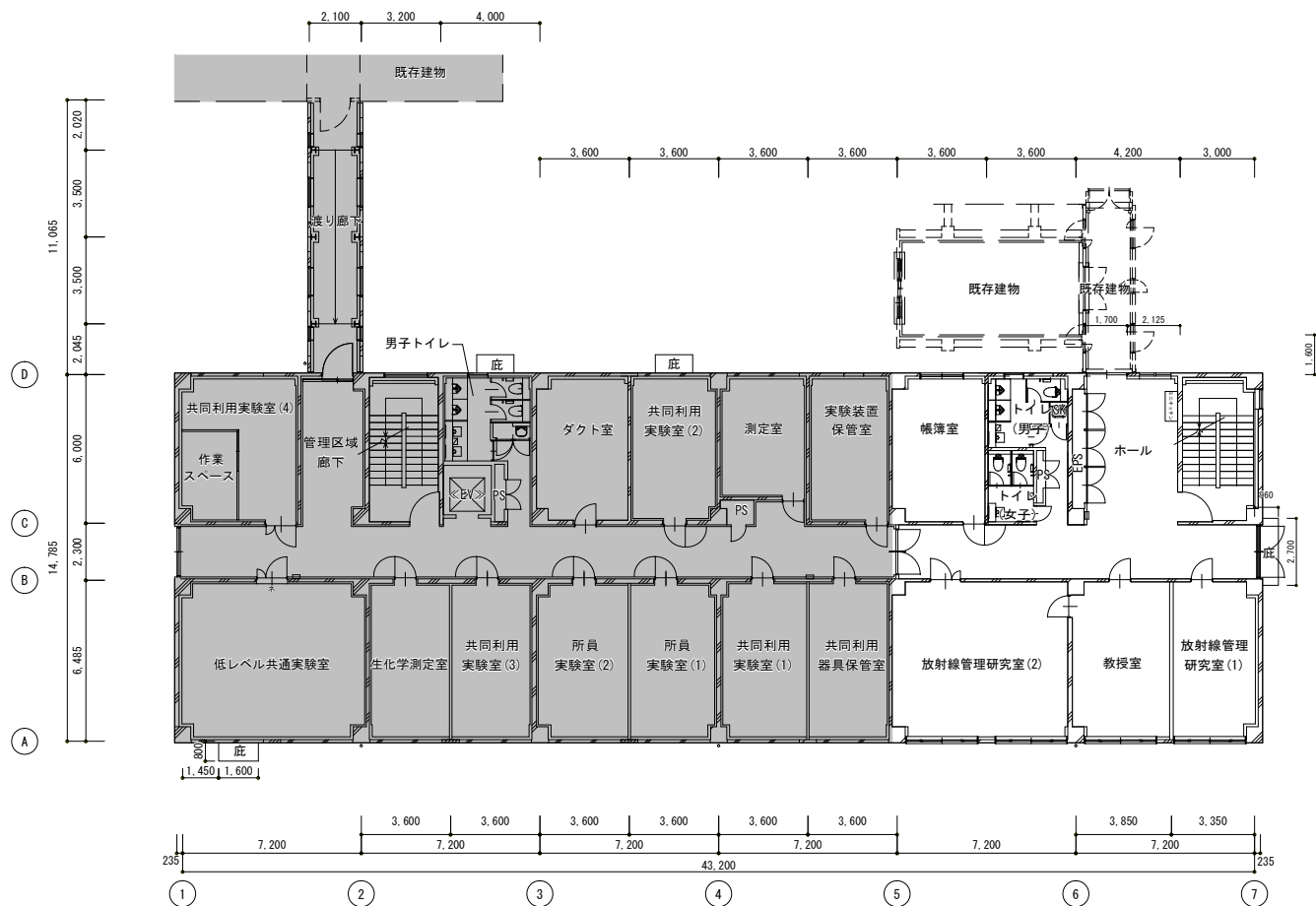
- 凡例
- 排水トレンチ
 - 既存床下ピット
 - 管理区域



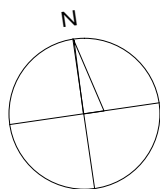
改修前2階平面図



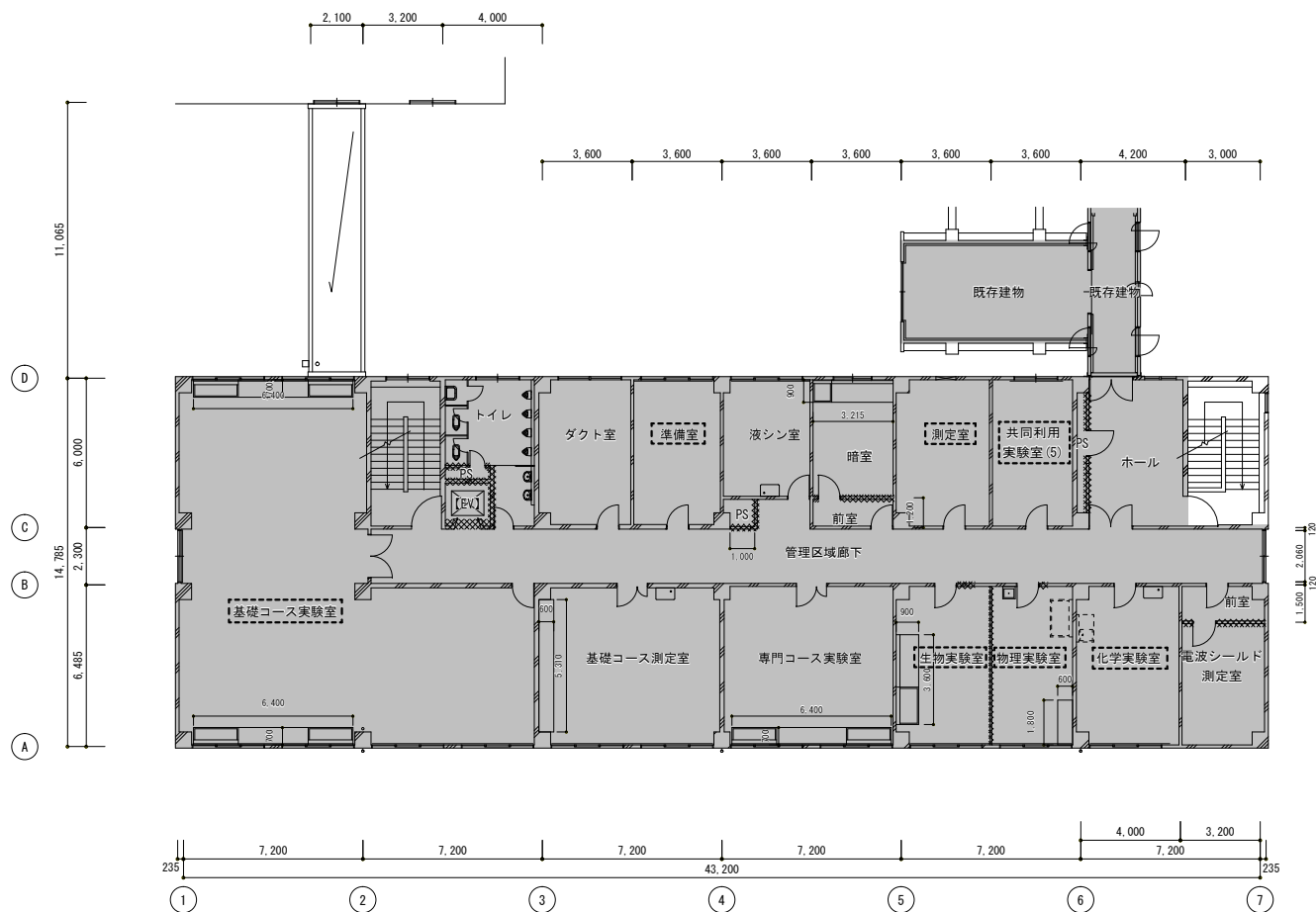
- 凡例
- 撤去範囲
 - 管理区域
 - 工事期間中も研究機器等が残置される部屋



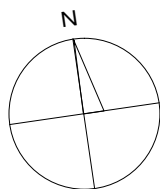
改修後2階平面図



凡例
管理区域



改修前3階平面図

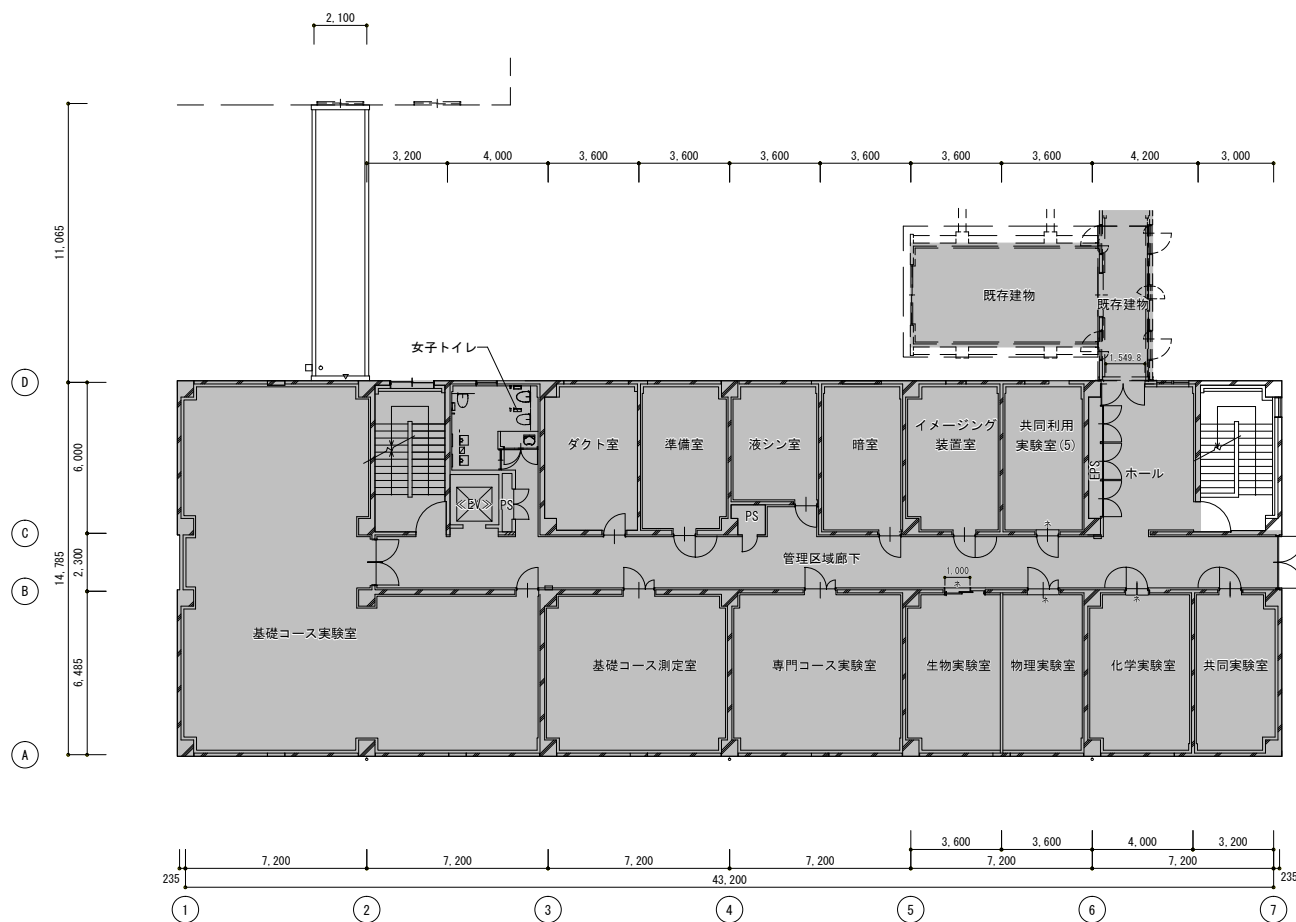


凡例

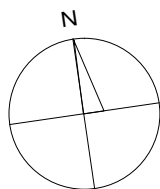
撤去範囲

管理区域

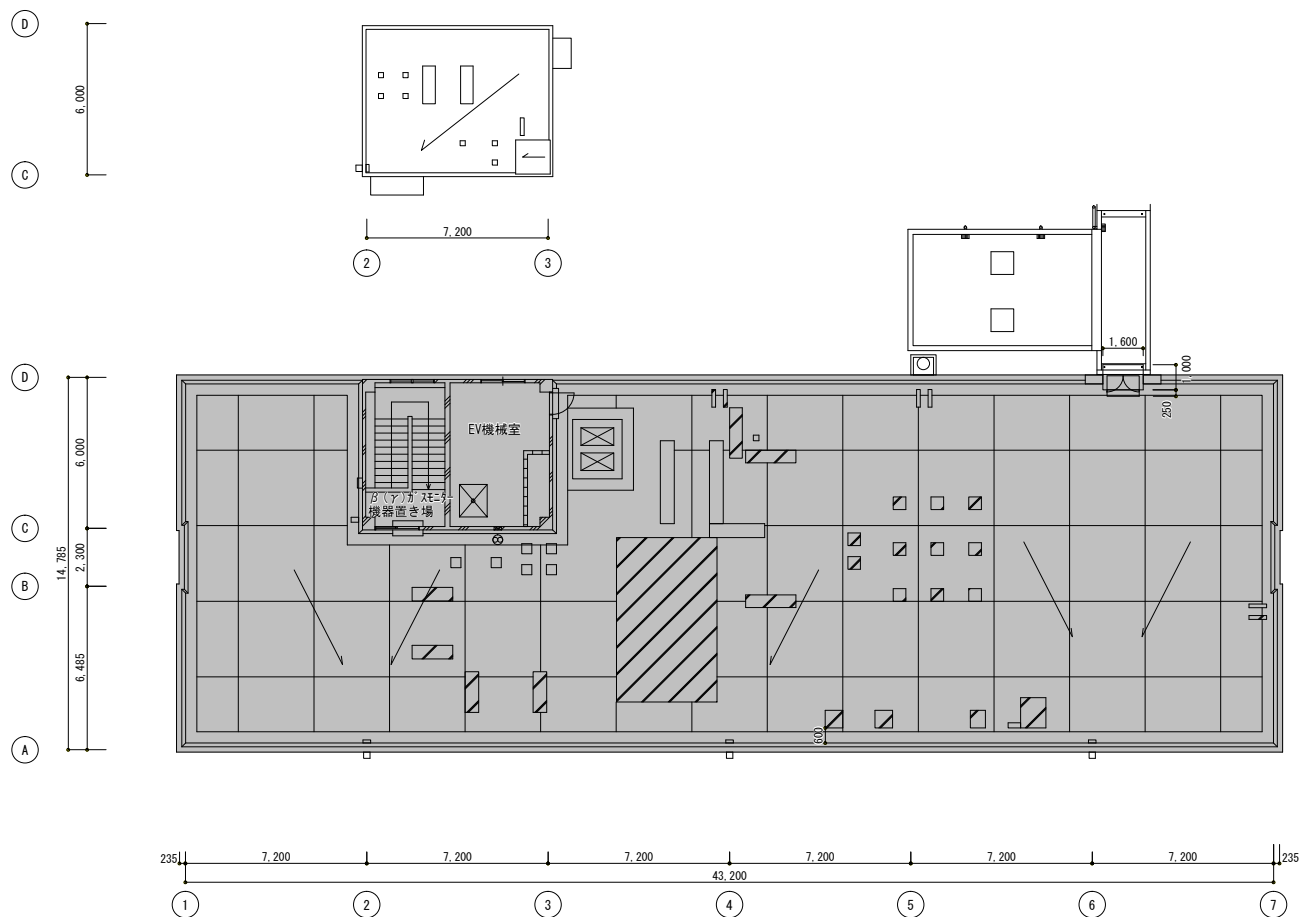
工事期間中も研究機器等が残置される部屋



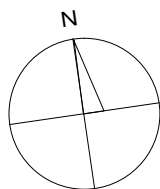
改修後3階平面図



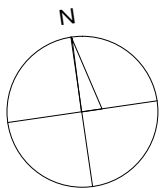
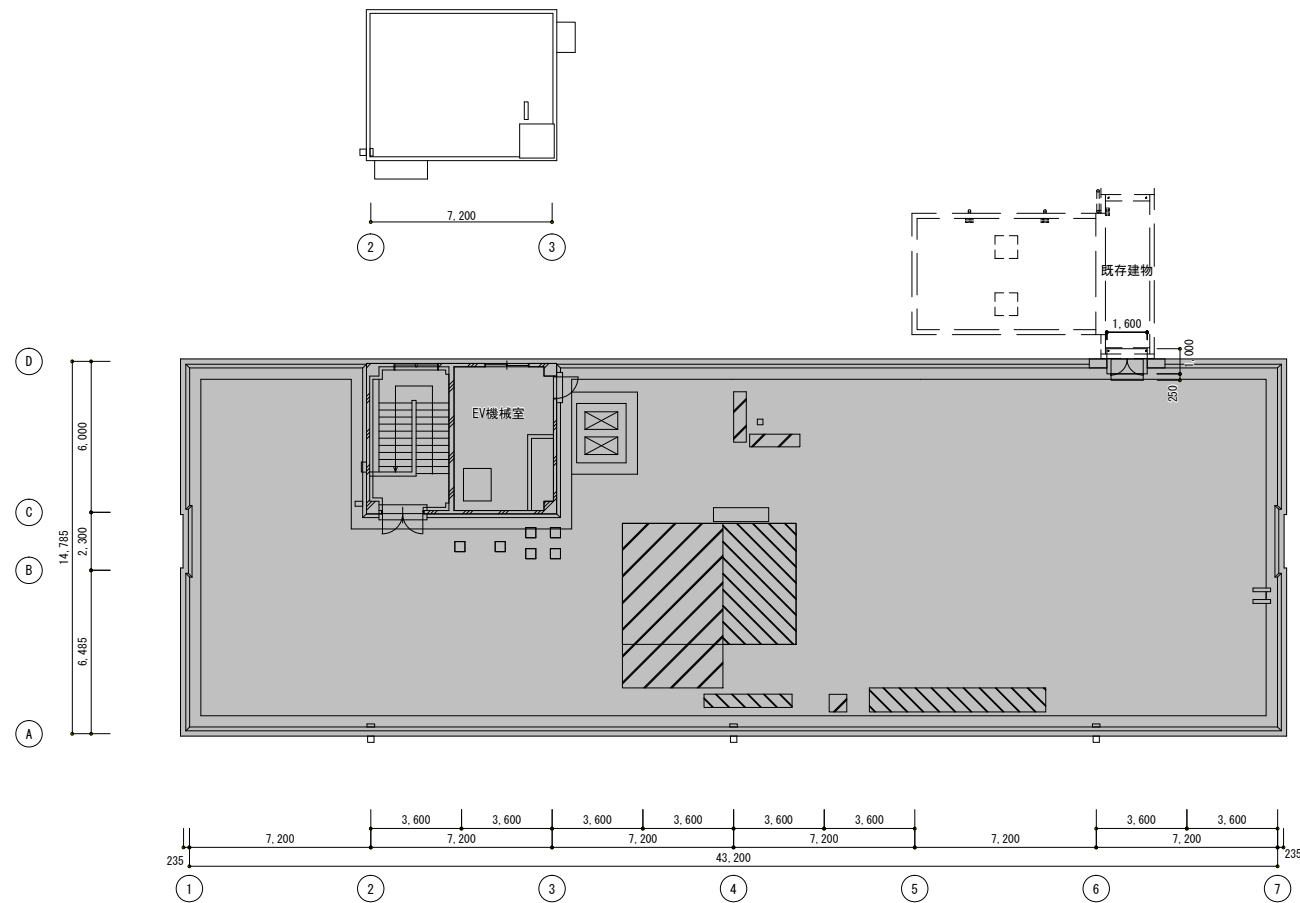
凡例
管理区域



改修前R階平面図



凡例
 ■ 管理区域
 ▨ 設備基礎



凡例

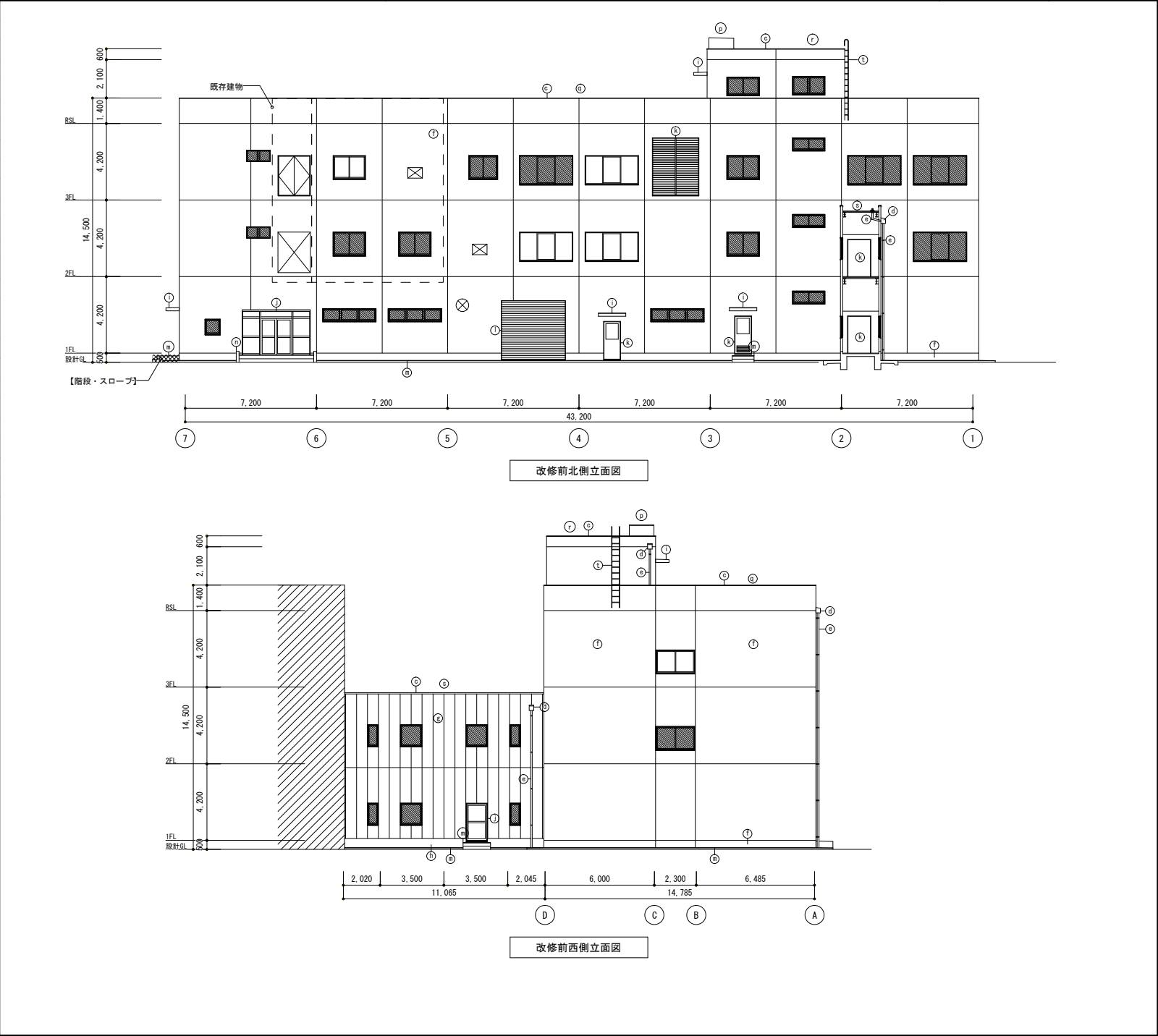
管理区域

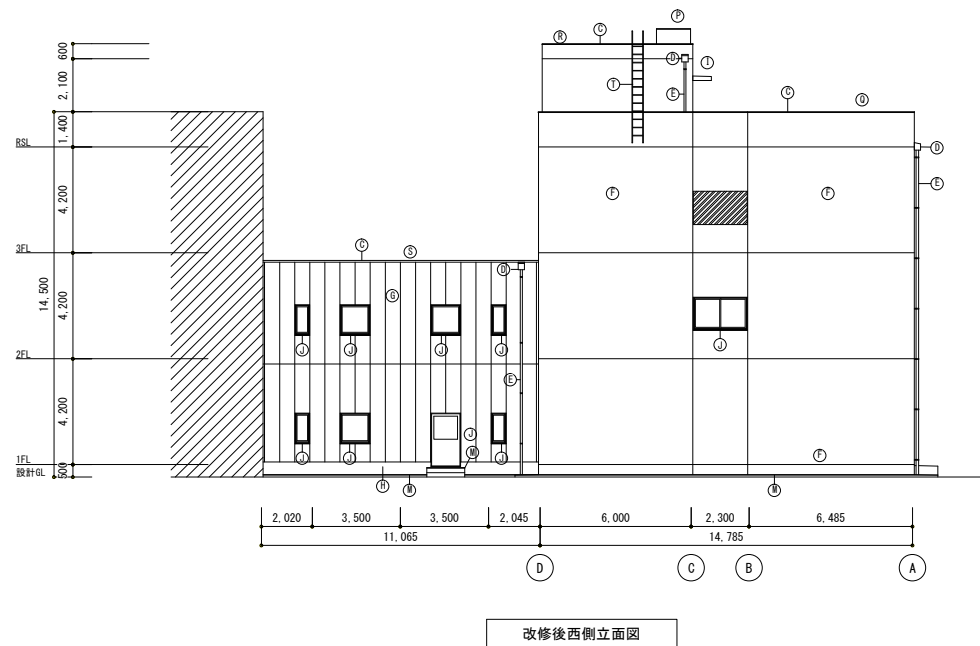
 既存改修設備基礎

 新規設備基礎

改修後R階平面図

改修前 共通凡例		
記号	摘要	※【 】は撤去を示す。
	改修範囲外	
	笠木	： 防水モルタル塗こて
	笠木	： モルタル防水
	笠木	： 【アルミ笠木】
	飾り樹	： 【亜鉛メッキ鉄板 #26 (t0.47) 250□x300H SOP】
	縦樋	： 【白ガス管 φ100, φ80 SOP】
	外壁	： コンクリート直仕上下地 砂壁状吹付
	外壁	： ALC版 t120 砂壁状吹付 砂壁状吹付
	外巾木	： コンクリート直仕上下地 砂壁状吹付 H=600
	庇	： 【防水モルタル塗こて】
	建具	： 【カラーアルミサッシ窓、ドア】
	建具	： 【スチールドア、ガラリ SOP】
	建具	： 【スチールシャッター SOP】
	モルタル仕上	
	玄関ボーダー笠木	： TB
	【天井排気用穴】	
	PS立上り屋根：RC+U防	
	屋根：RC+A防	
	屋根：RC+U防	
	屋根：RC+S防	
	タラップ	
	開口部：【アルミサッシ】	
	設備用開口部	
	煙突用開口部	
特記事項		
1) 改修範囲は外壁事前調査（目視、打診、マーキング、計測）を行う。 ・クラック部改修については、樹脂注入工法（硬質型エポキシ樹脂） 欠損部改修については、エポキシ樹脂モルタル充填工法とする。		
2) 既存塗膜の劣化部の除去、下地処理及び下地調整の工法は 高圧水洗工法(30Mpa以上)とする。		



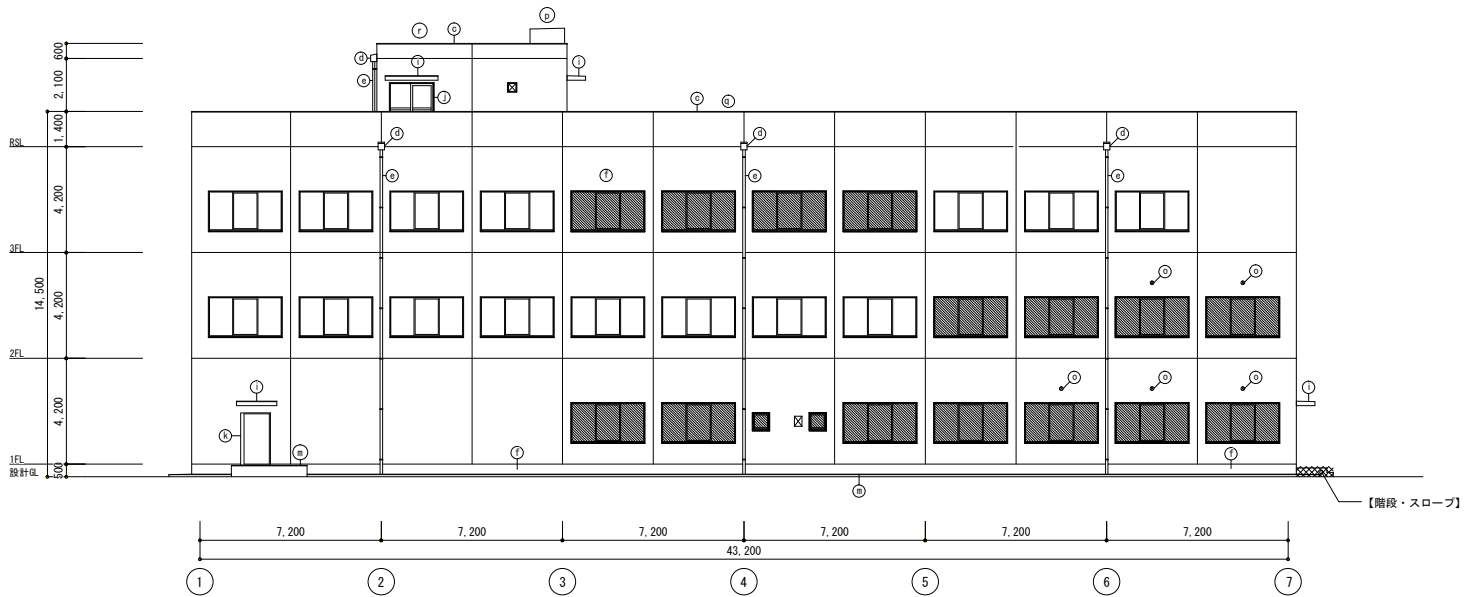


改修前 共通凡例		
記号	摘要	※【 】は撤去を示す。
	改修範囲外	
㊶	笠木	：防水モルタル塗こて
㊷	笠木	：モルタル防水
㊸	笠木	：【アルミ笠木】
㊹	飾り樹	：【亜鉛メッキ鉄板 #26 (t0.47) 250□x300H SOP】
㊺	縦樋	：【白ガス管 φ100, φ80 SOP】
㊻	外壁	：コンクリート直仕上下地 砂壁状吹付
㊼	外壁	：ALC版 t120 砂壁状吹付 砂壁状吹付
㊽	外巾木	：コンクリート直仕上下地 砂壁状吹付 H=600
㊾	庇	：【防水モルタル塗こて】
㊿	建具	：【カラーアルミサッシ窓、ドア】
㊿	建具	：【スチールドア、ガラリ SOP】
㊿	建具	：【スチールシャッター SOP】
㊿	モルタル仕上	
㊿	玄関ボーダー笠木	：TB
㊿	【天井排気用穴】	
㊿	PS上り屋根：RC+U防	
㊿	屋根：RC+A防	
㊿	屋根：RC+U防	
㊿	屋根：RC+S防	
㊿	タラップ	
	開口部：【アルミサッシ】	
	設備用開口部	
	煙突用開口部	

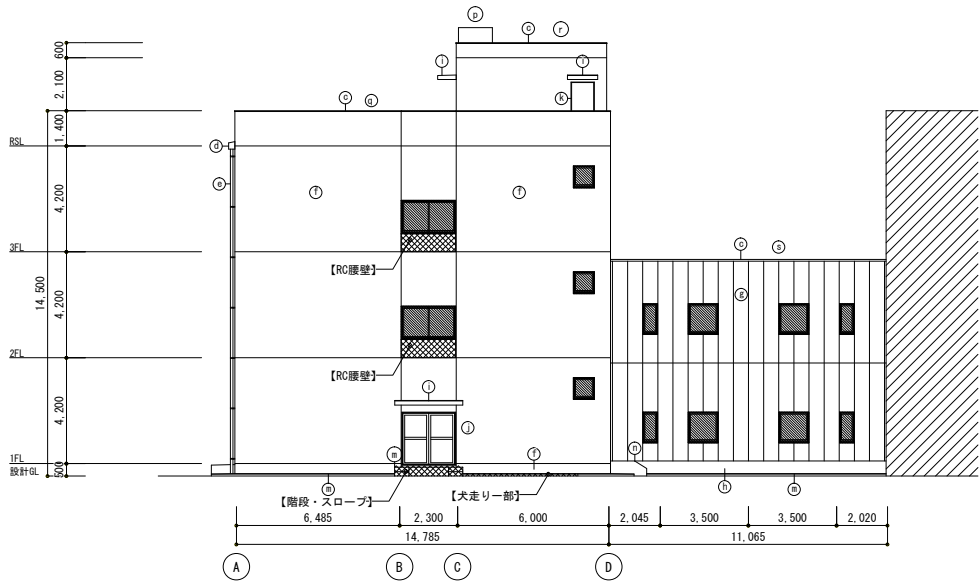
特記事項

1) 改修範囲は外壁事前調査（目視、打診、マーキング、計測）を行う。
・クラック部改修については、樹脂注入工法（硬質型エポキシ樹脂）
欠損部改修については、エポキシ樹脂モルタル充填工法とする。

2) 既存塗膜の劣化部の除去、下地処理及び下地調整の工法は
高圧水洗工法（30Mpa以上）とする。

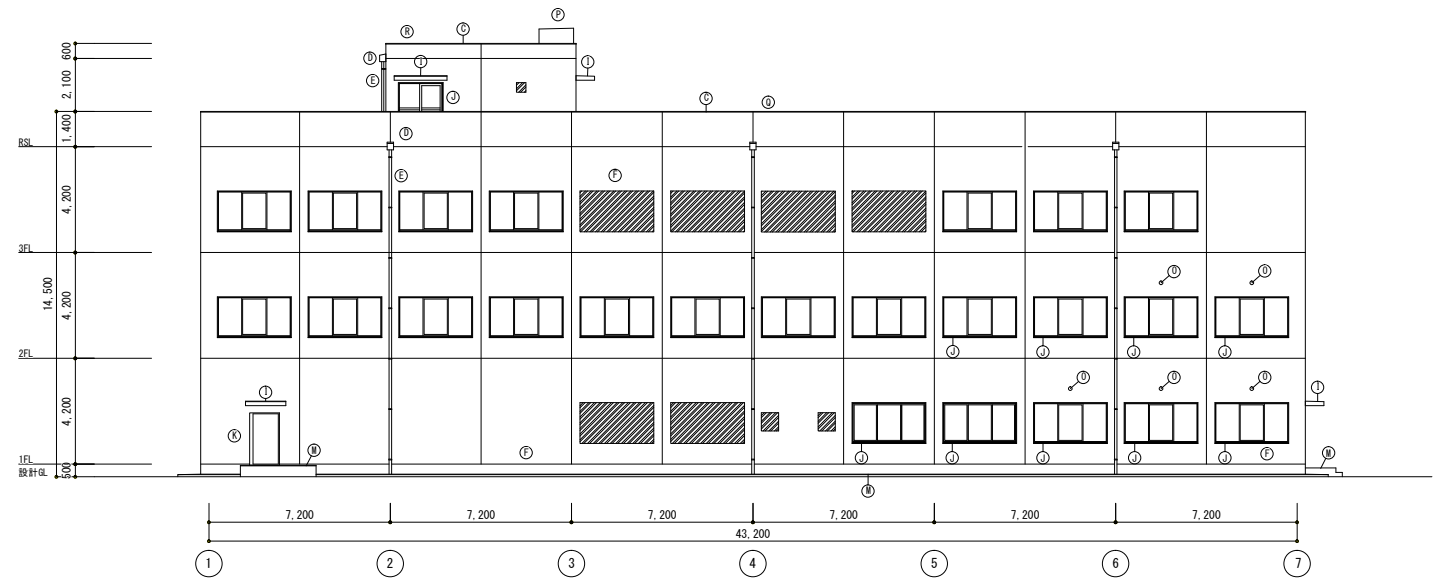


改修前南側立面図

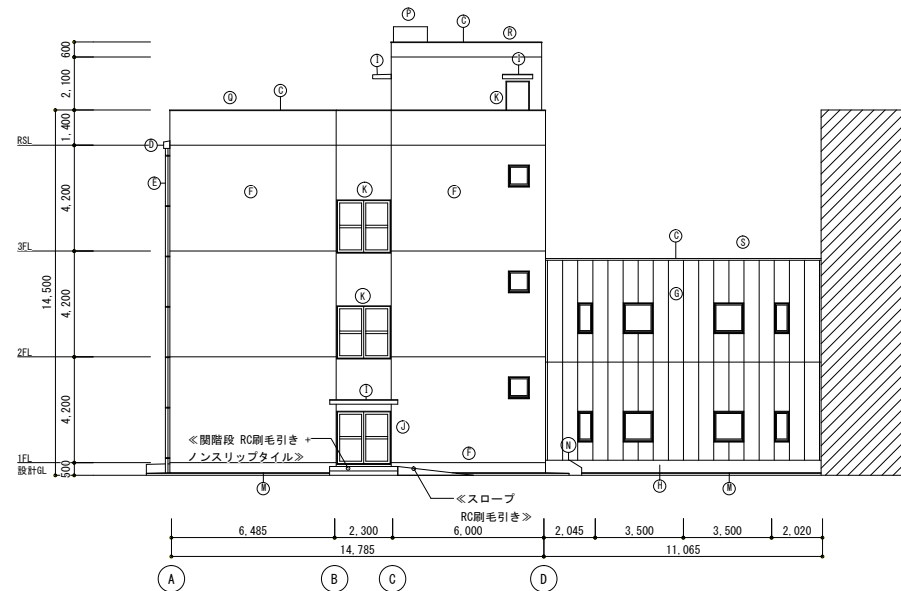


改修前東側立面図

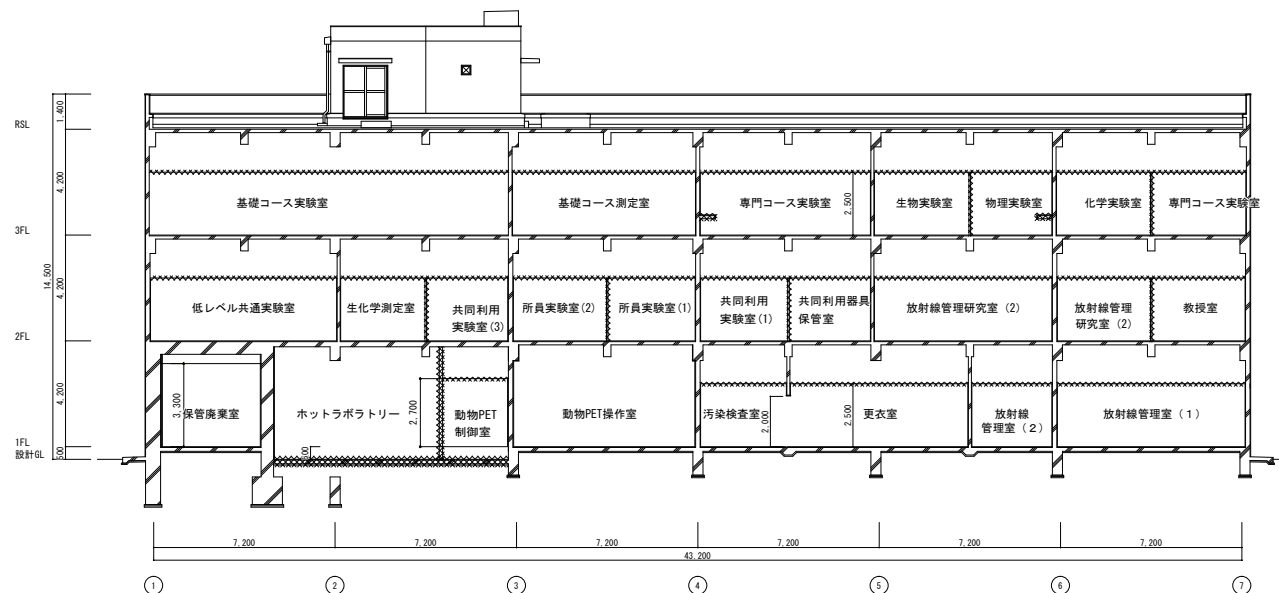
改修後 共通凡例

[illegible]

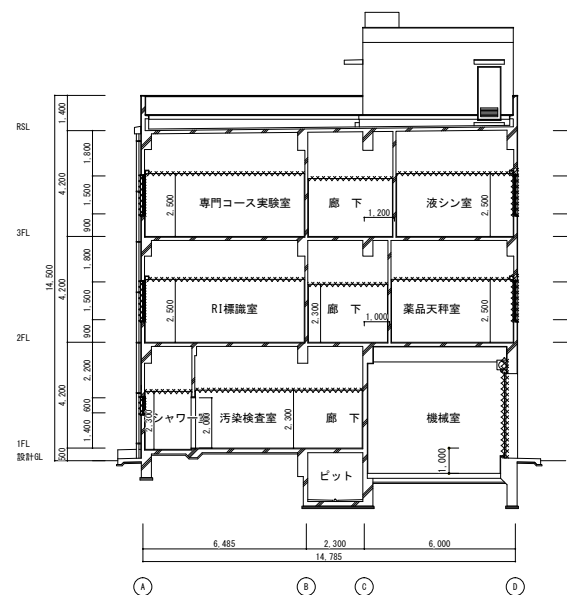
改修後南側立面図



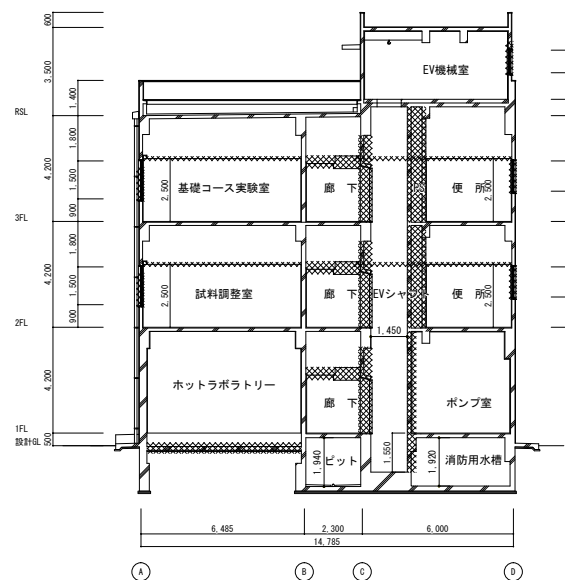
改修後東側立面図



改修前A-A断面図

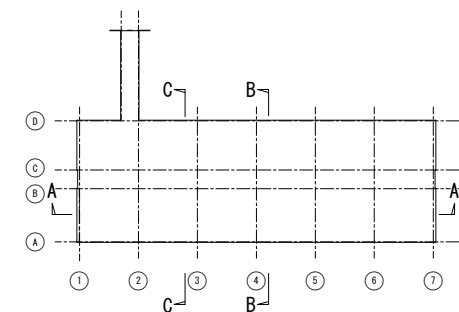


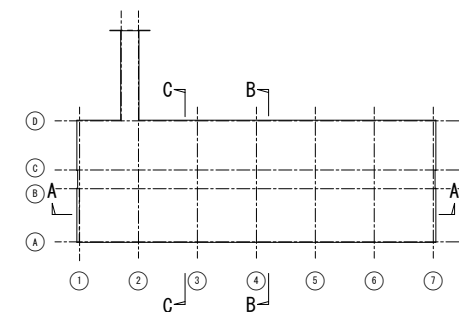
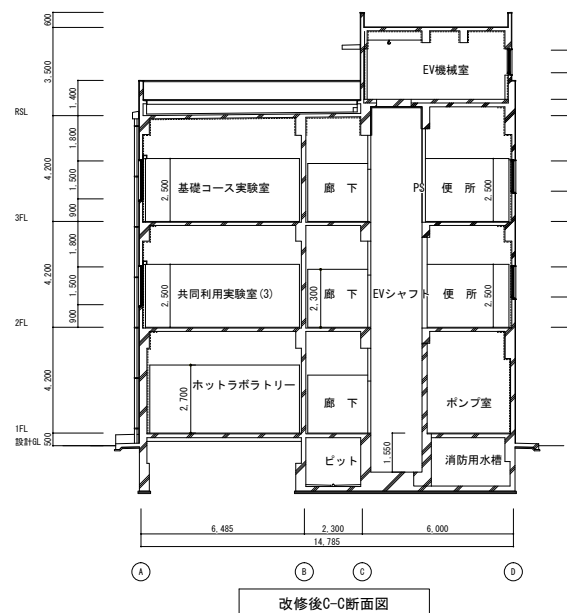
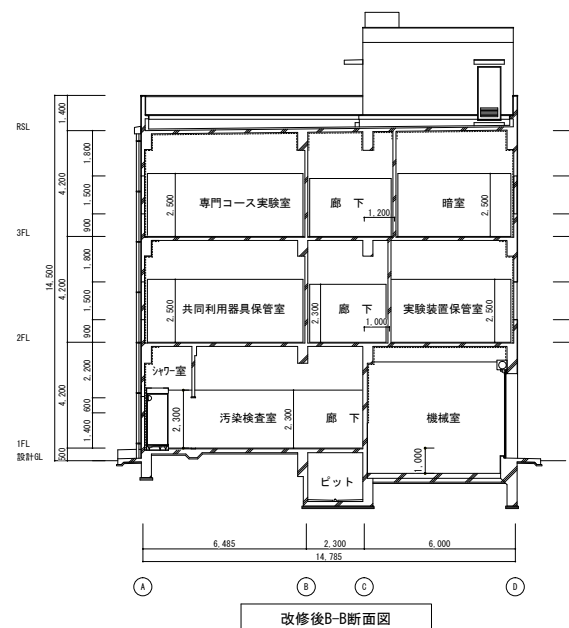
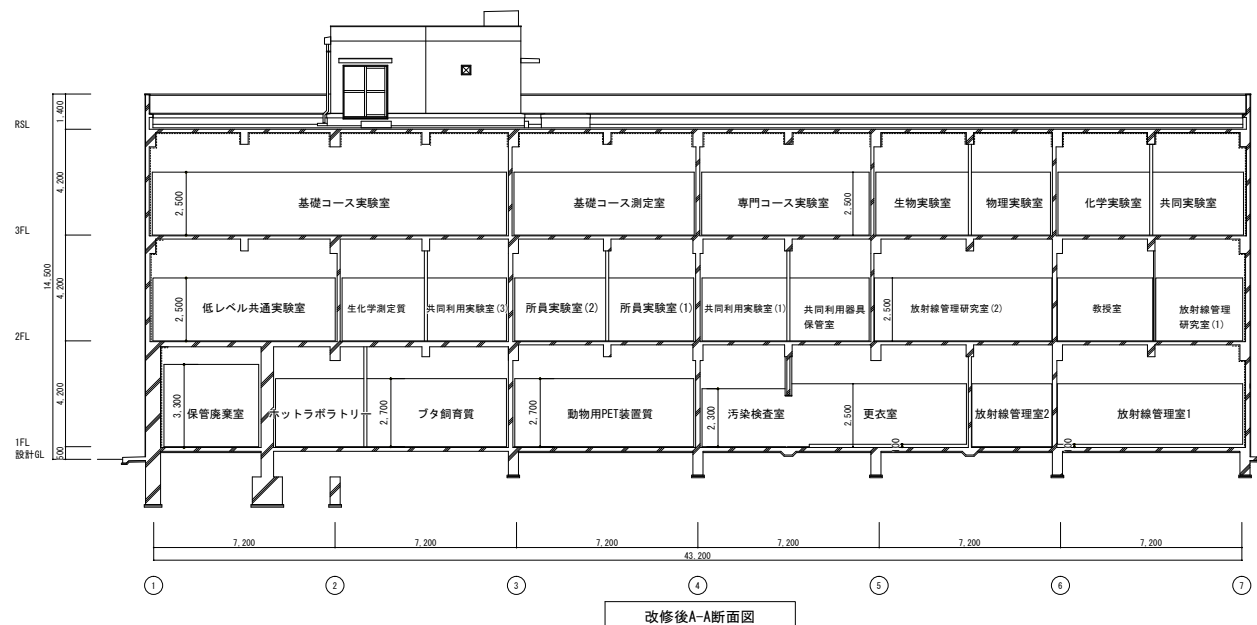
改修前B-B断面図

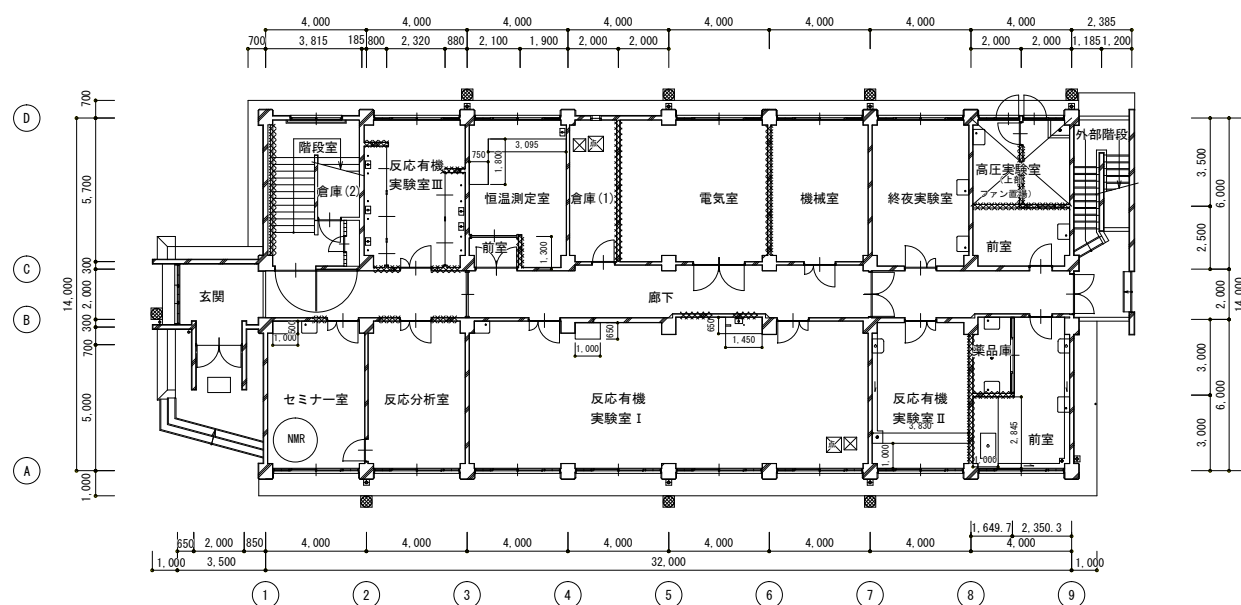


改修前C-C断面図

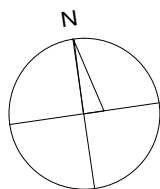
凡例
撤去範囲







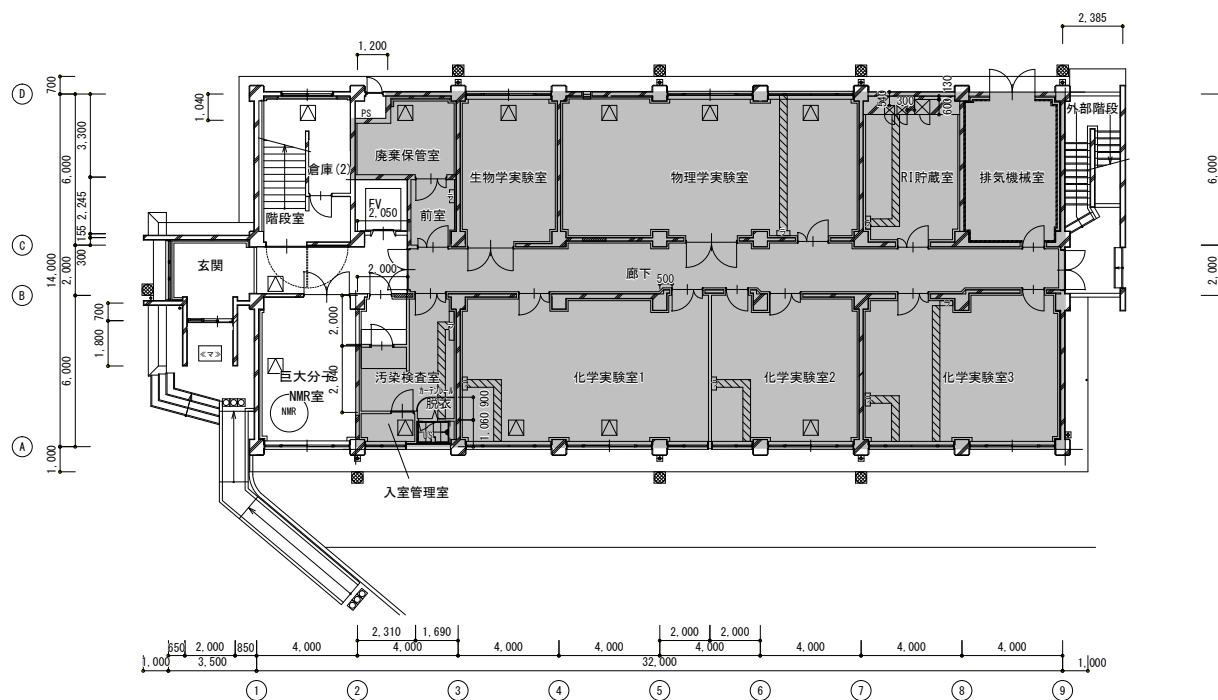
改修前1階平面図



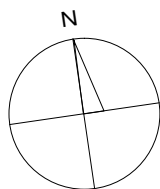
凡例

撤去範囲

NMR 工事中期中残置される研究機器



改修後1階平面図

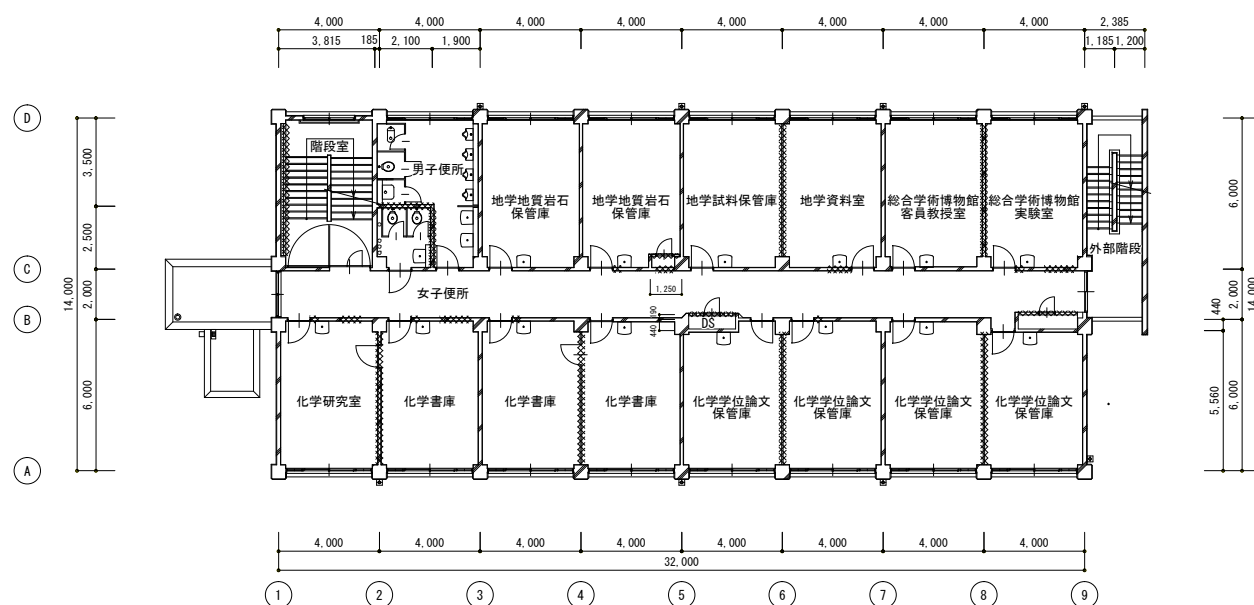


凡例

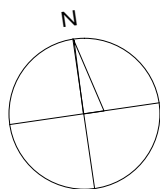
排水トレンチ

NMR 工事期間中残置される研究機器

管理区域

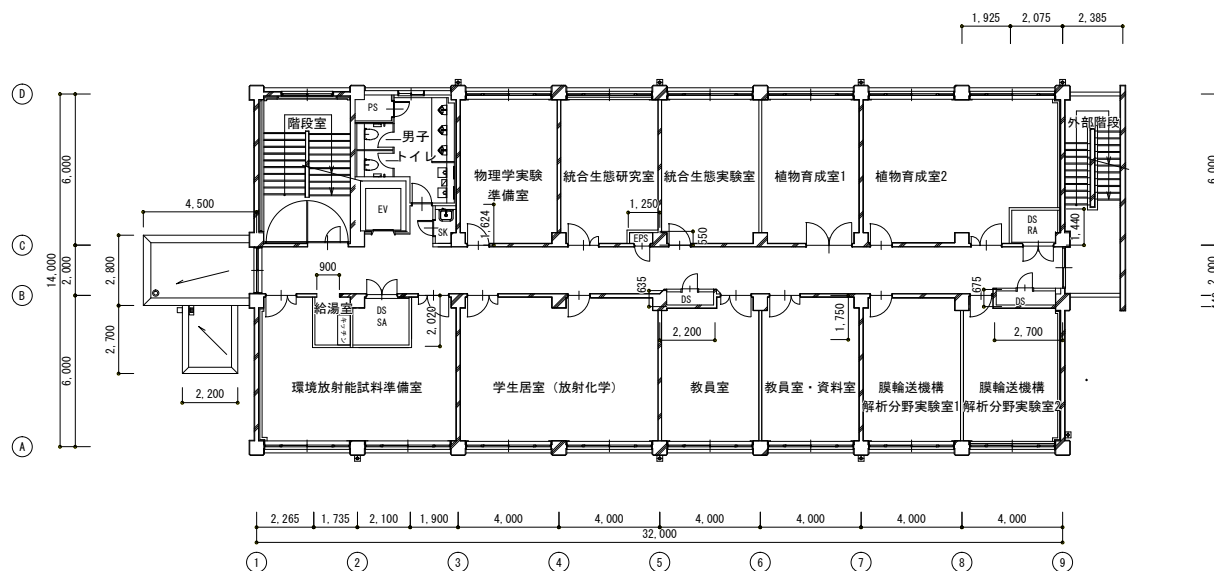


改修前2階平面図

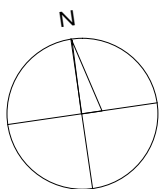


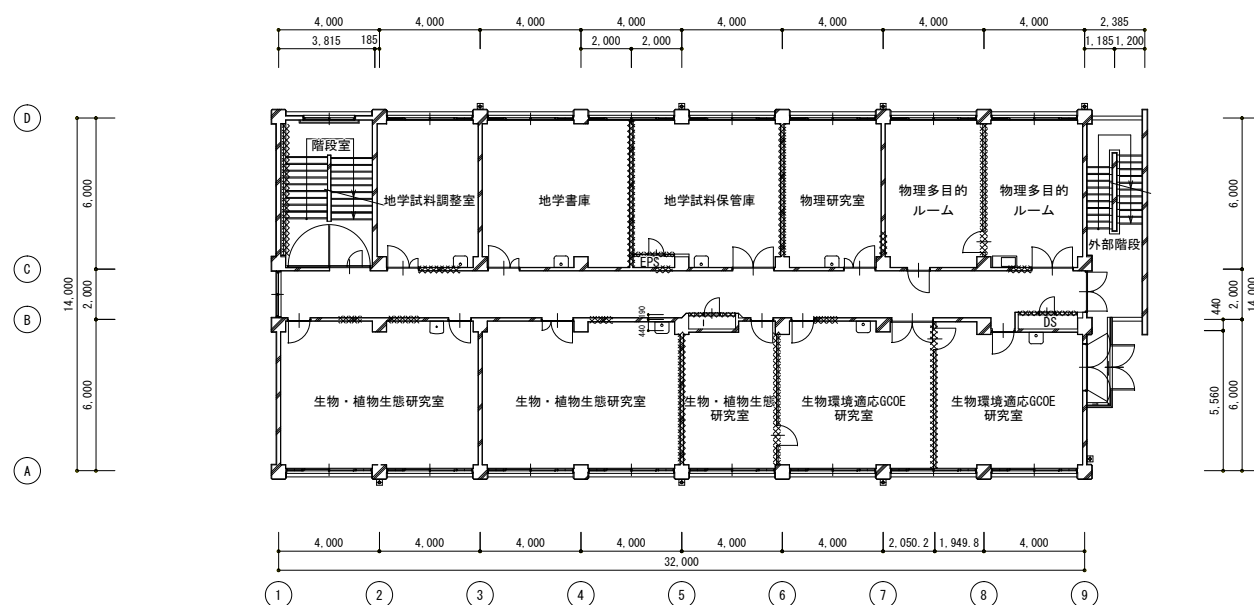
凡例

×××××× 撤去範囲

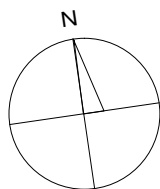


改修後2階平面図



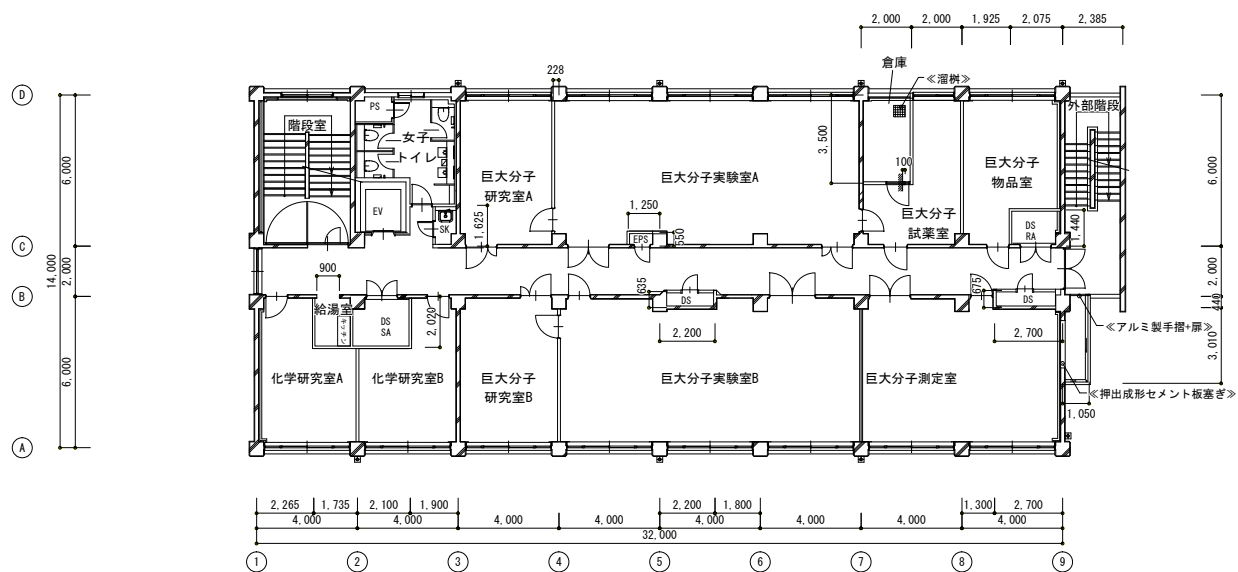


改修前3階平面図

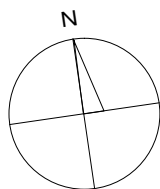


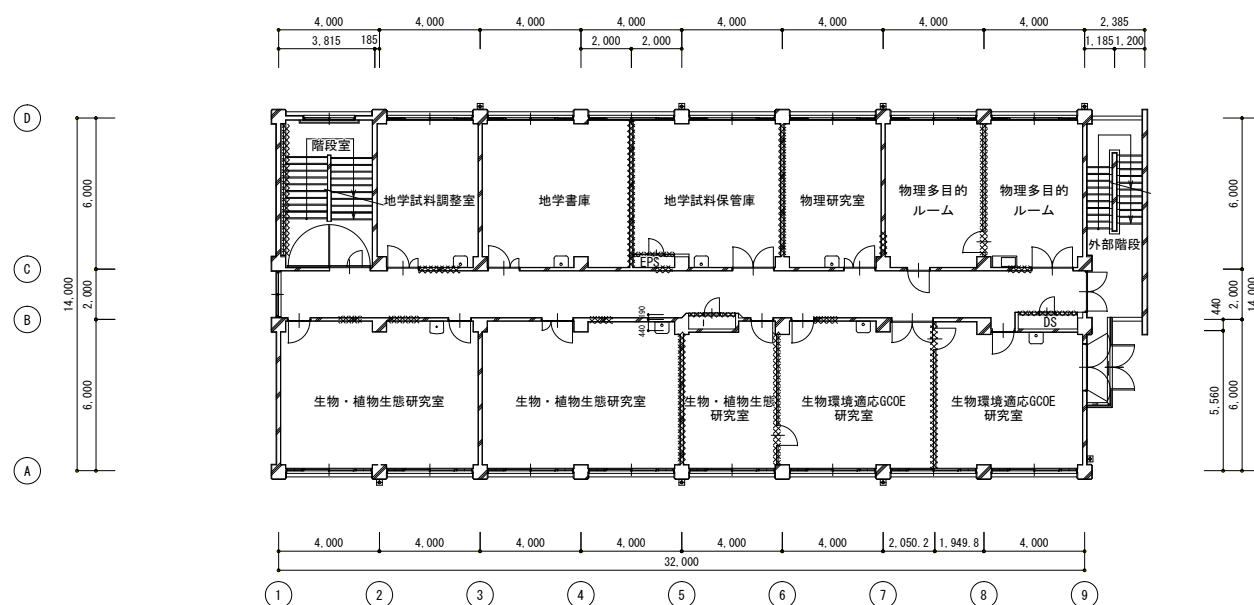
凡例

XXXXXX 撤去範囲

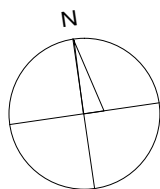


改修後3階平面図



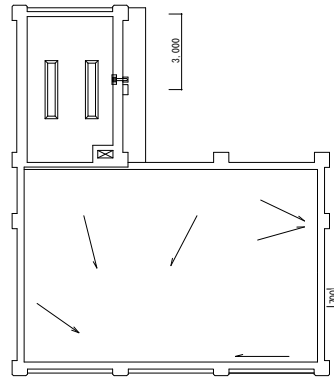
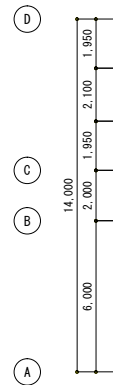


改修前3階平面図

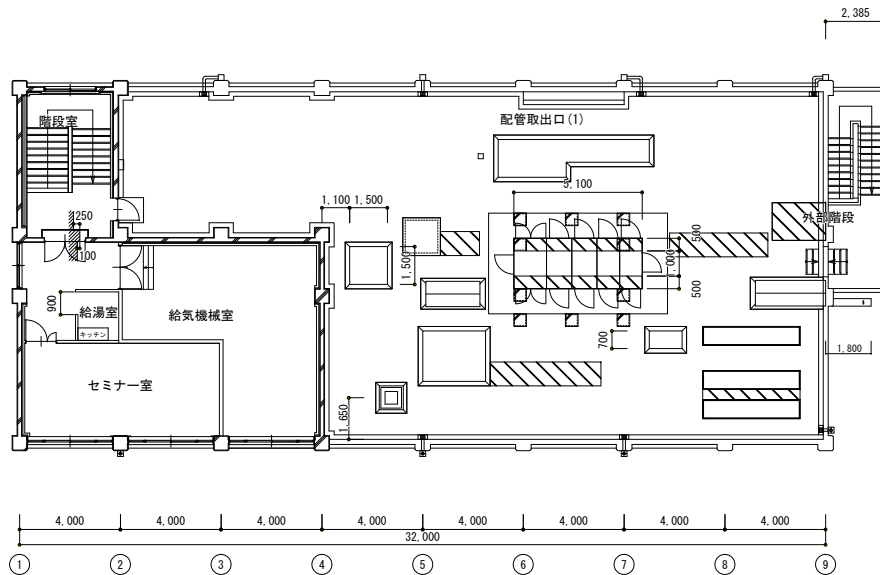
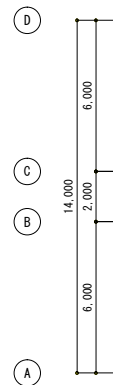


凡例

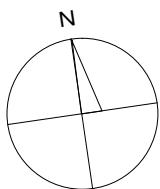
撤去範囲



改修後R階平面図



改修後4階平面図



凡例

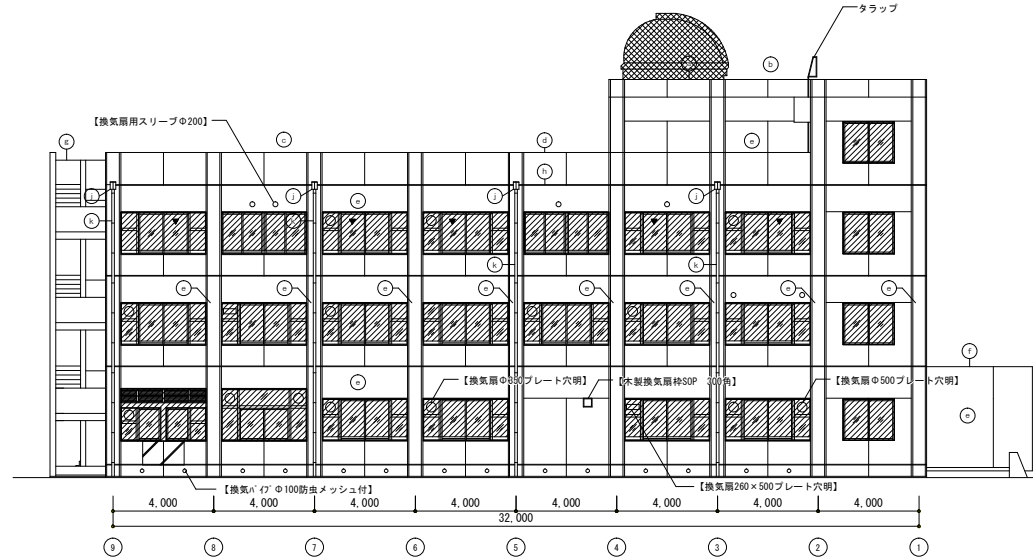
新規設備基礎

凡例	
(a)	笠木：CK下地 FSB
(b)	屋根：CK下地 + A防(露出)B種+【カラー砂付】
(c)	屋根：【CK下地 打増t=15、U防】
(d)	パラペット：天端：CK下地 FSB
(e)	【RC打放下地（C種）打増25mm複層模倣吹付】
(f)	屋根：CK下地打増t=15 +A防露出(砂付ルーフィング)
(g)	屋根：CK下地打増t=25 FSB
(h)	【打継目地25×25シーリング10×10】
(i)	【手摺：鋼角パイプ製(扉付)SOP】
(j)	【飾拱 耐候性鋼板 SOP】
(k)	【配管用鋼管100A SOP + 掴金物φ1200】
(l)	【機械吊り下げ用ビームフック：丸鋼φ25 SOP】

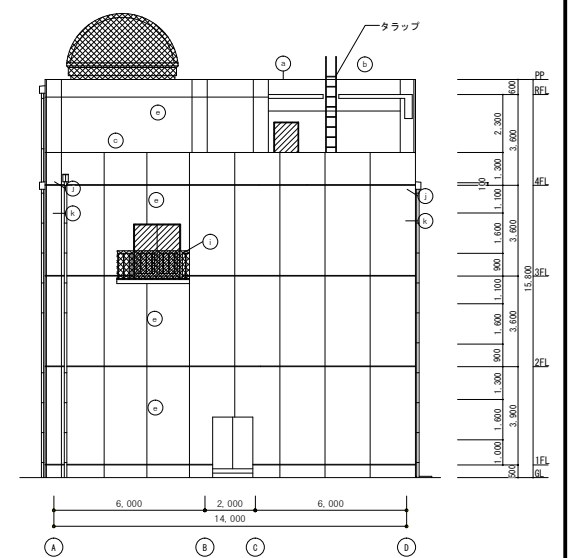
	撤去範囲
	【アルミ建具等】
	【RC 腰壁】

特記事項

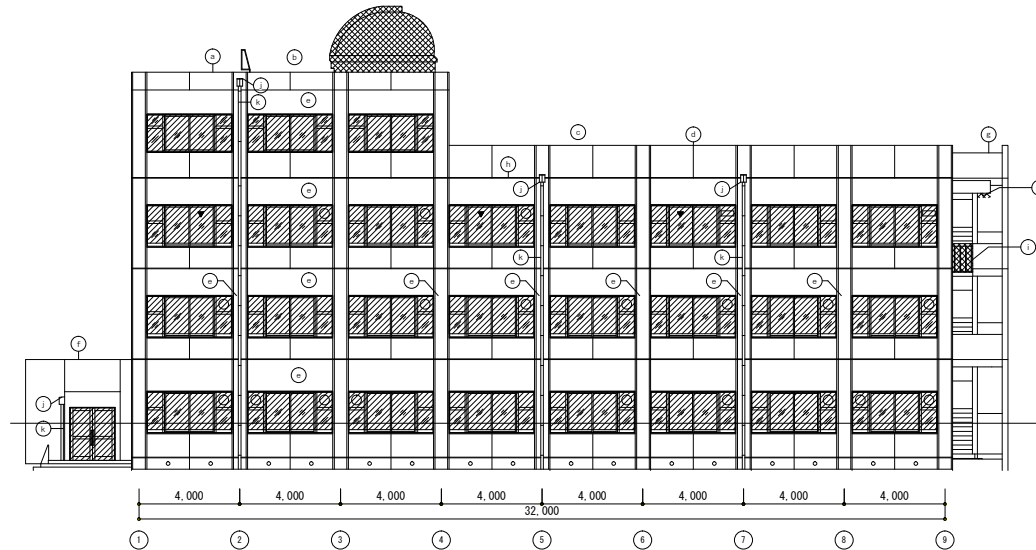
- 改修範囲は外壁事前調査（目視、打診、マーキング、計測）を行う。
・クラック部改修については、樹脂注入工法（硬質型エポキシ樹脂）
欠損部改修については、エポキシ樹脂モルタル充填工法とする。
- 既存建物の劣化部の除去、下地処理及び下地調整の工法は
高圧水洗工法（30MPa以上）とする。



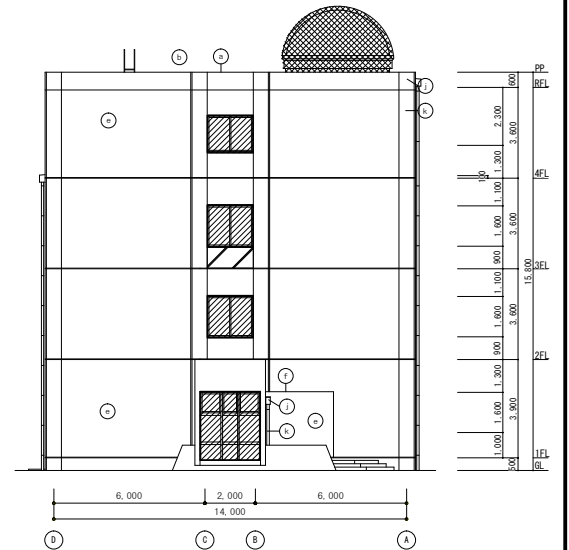
改修前北側立面図



改修前東側立面図



改修前南側立面図

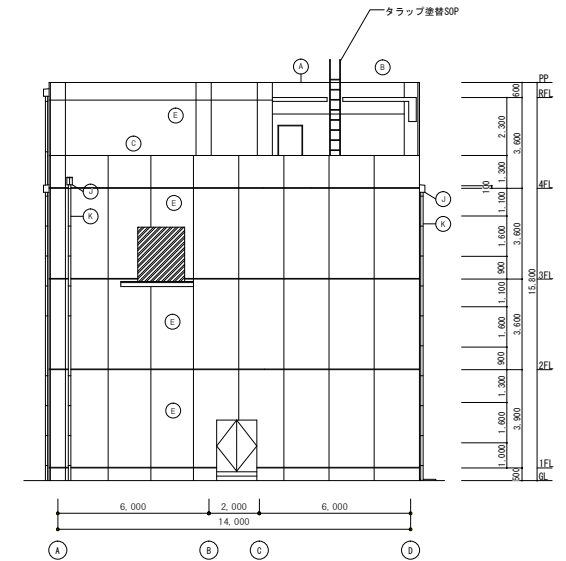


改修前西側立面図

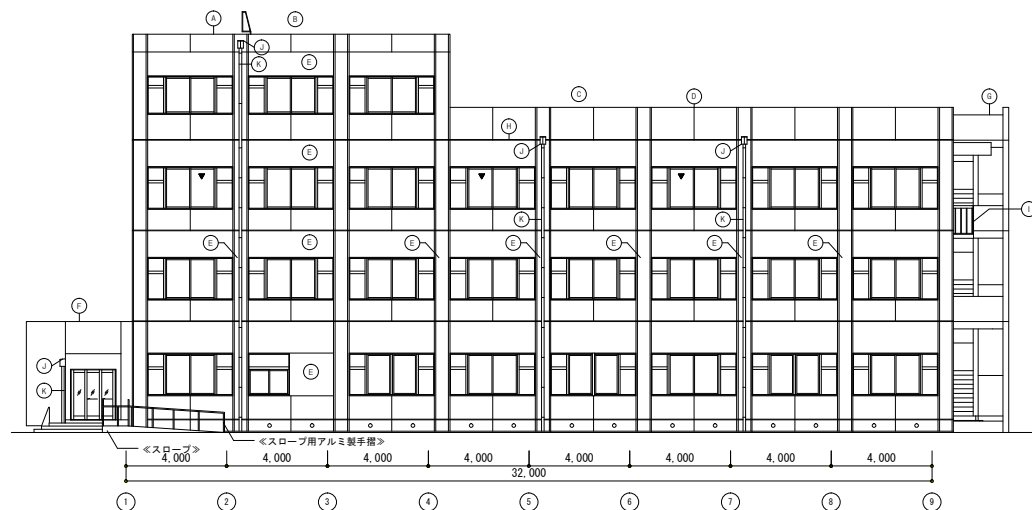
凡例	
(A)	笠木：既存CK下地 ≪可とう形改修塗材RE≫
(B)	屋根：既存A防 + ≪PF t=50 +S防≫
(C)	屋根：既存U防 + ≪PF t=50 +S防≫
(D)	パラペット：既存塗膜高圧水洗工法処理+ ≪可とう形改修塗材RE≫
(E)	外壁等：既存塗膜高圧水洗工法処理+ ≪可とう形改修塗材RE≫
(F)	屋根：既存CK + 既存 A防 + ≪UFt=35 +S防≫
(G)	屋根：既存塗膜高圧水洗工法処理+ ≪可とう形改修塗材RE≫
(H)	≪シーリング10x10 ≧
(I)	≪アルミ製手摺≫
(J)	≪飾枠 アルミ製≫
(K)	≪配管用鋼管φ100 φ80 アルミ製+ 掘金物#1200≫
	≪押出成形セメント板塞ぎ≫
	≪RC塞ぎ + 可とう形改修塗材RE≫



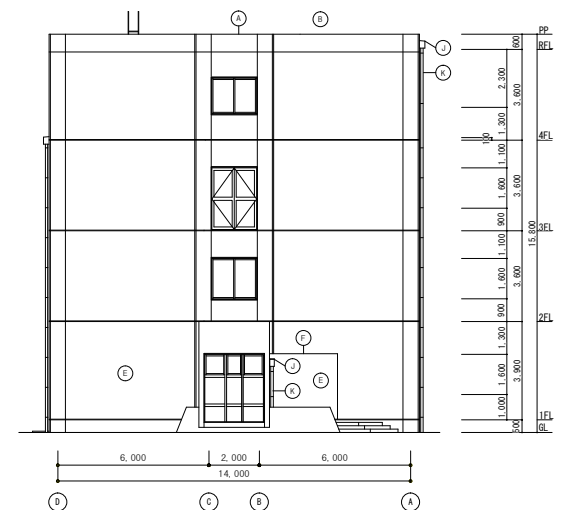
改修後北側立面図



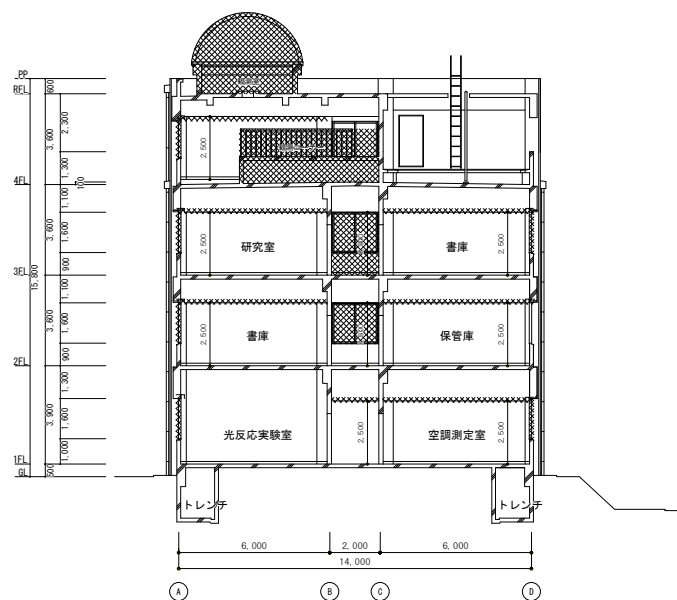
改修後東側立面図



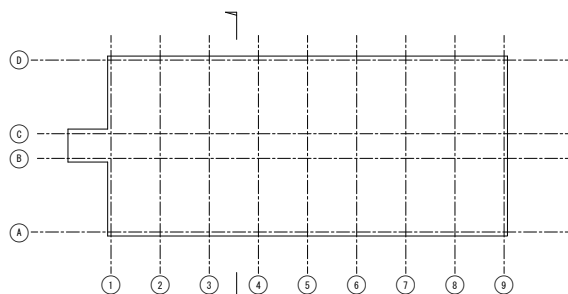
改修後南側立面図



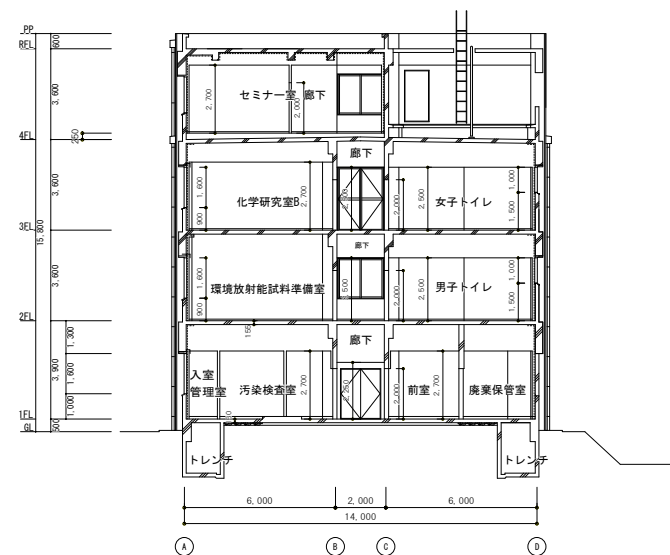
改修後西側立面図



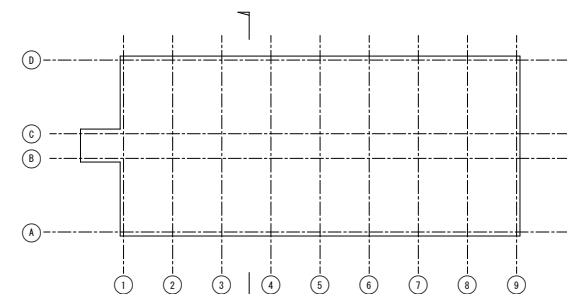
改修前断面図

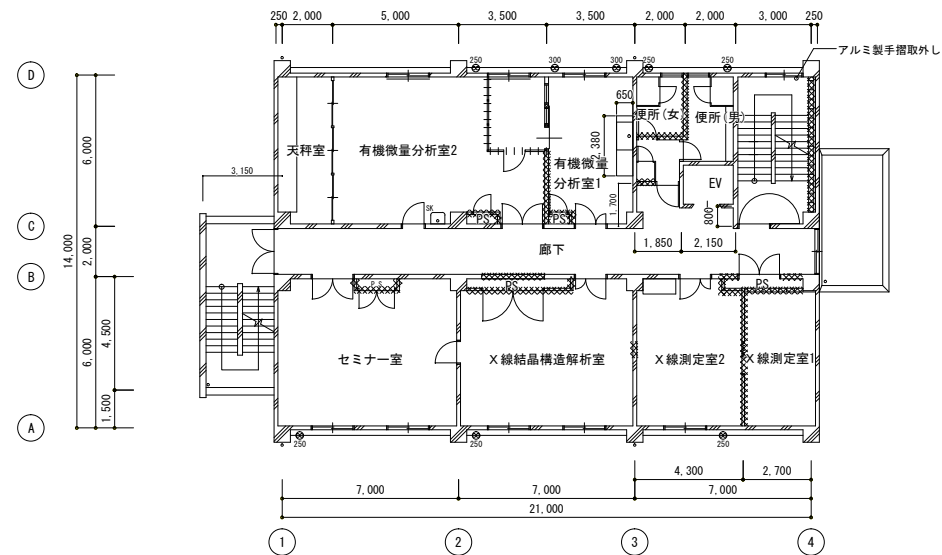


凡例
xxxxx 撤去範囲

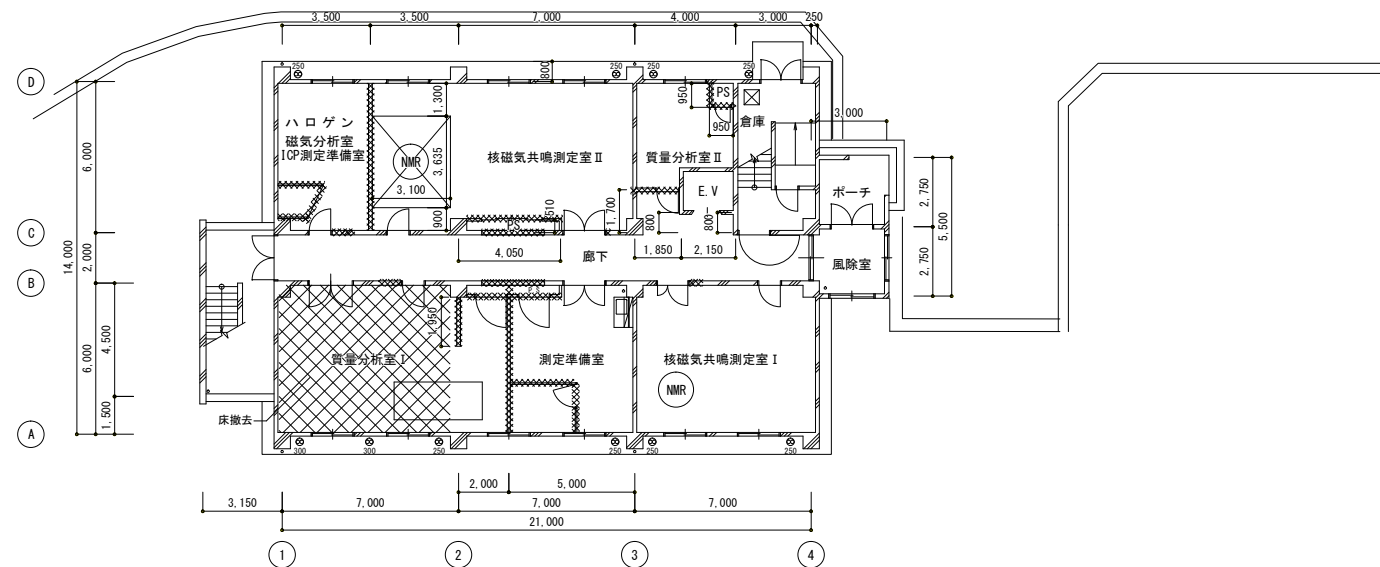


改修後断面図

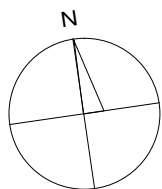




改修前2階平面図



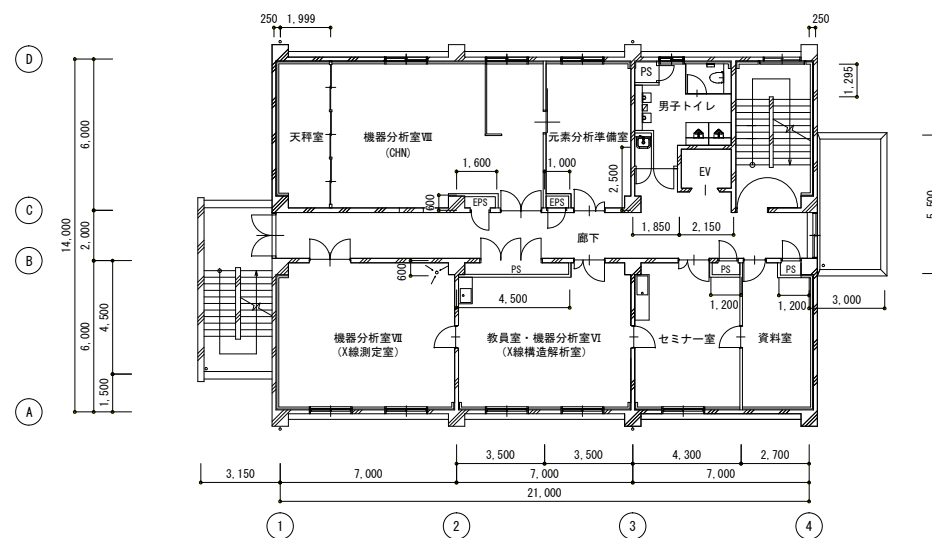
改修前1階平面図



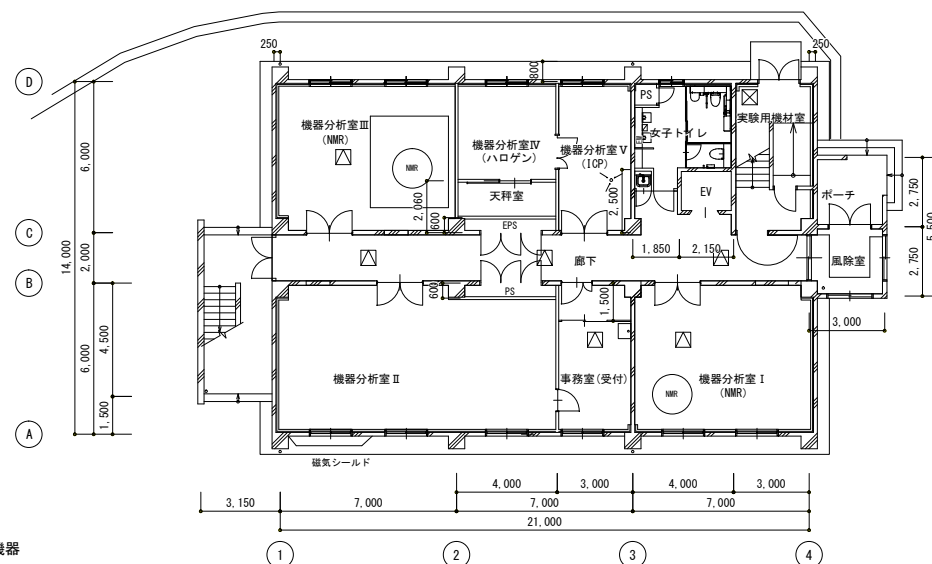
凡例

撤去範囲

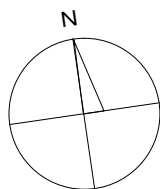
工事期間中残置される研究機器



改修後2階平面図



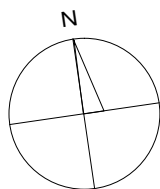
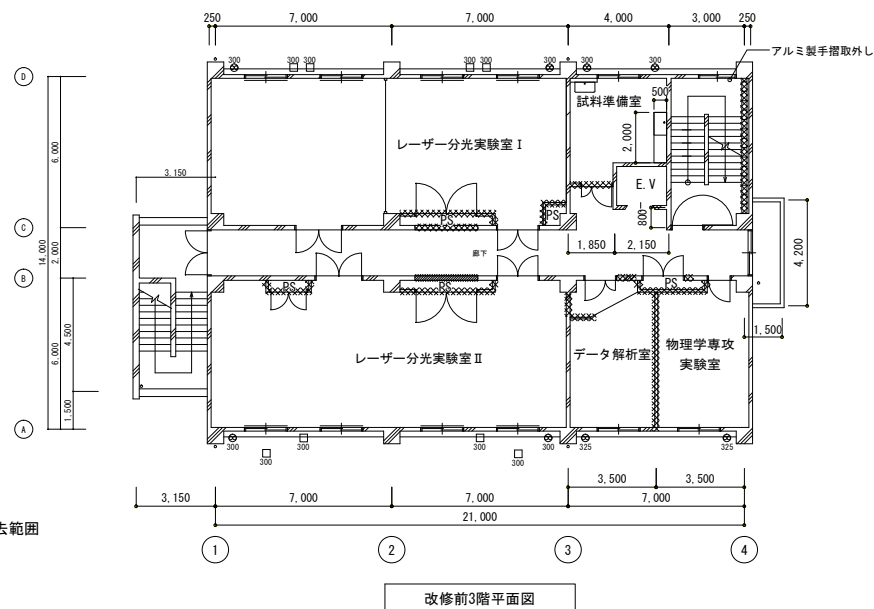
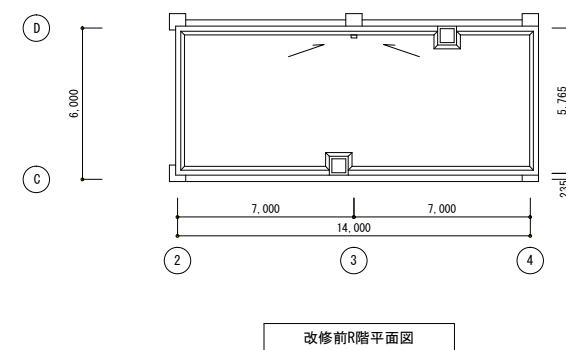
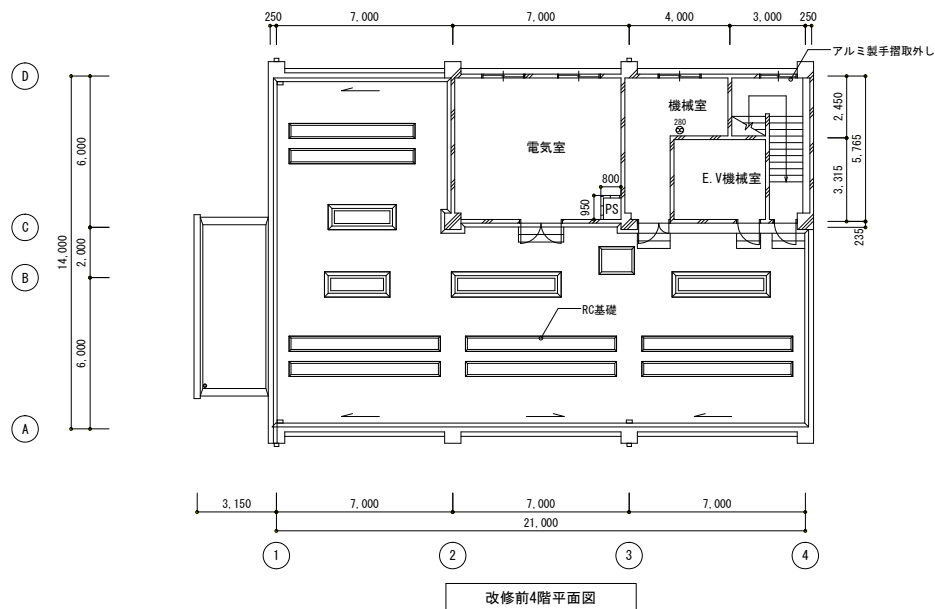
改修後1階平面図



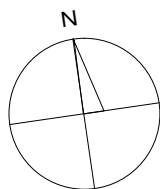
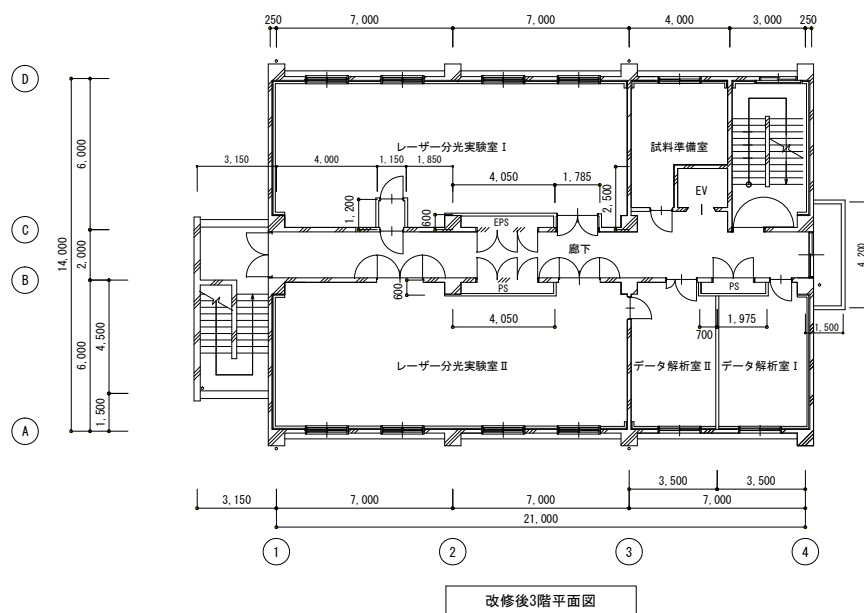
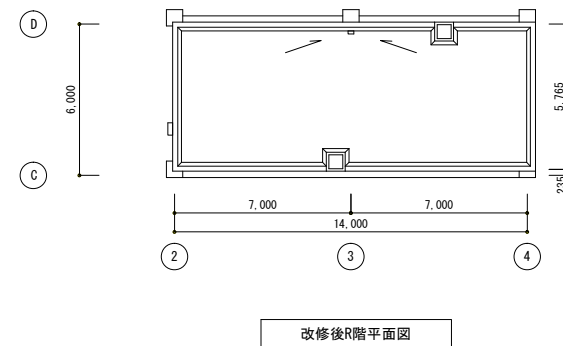
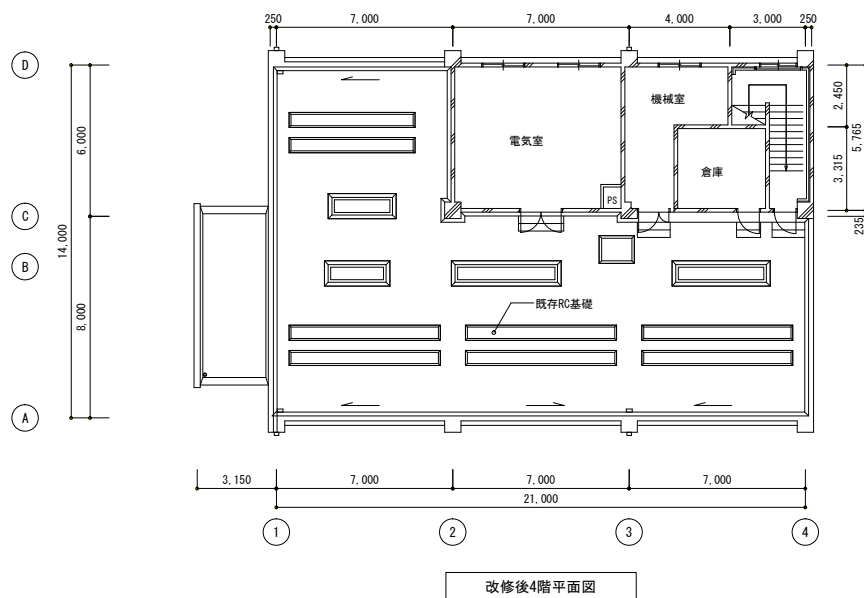
凡例



NMR 工事期間中残置される研究機器



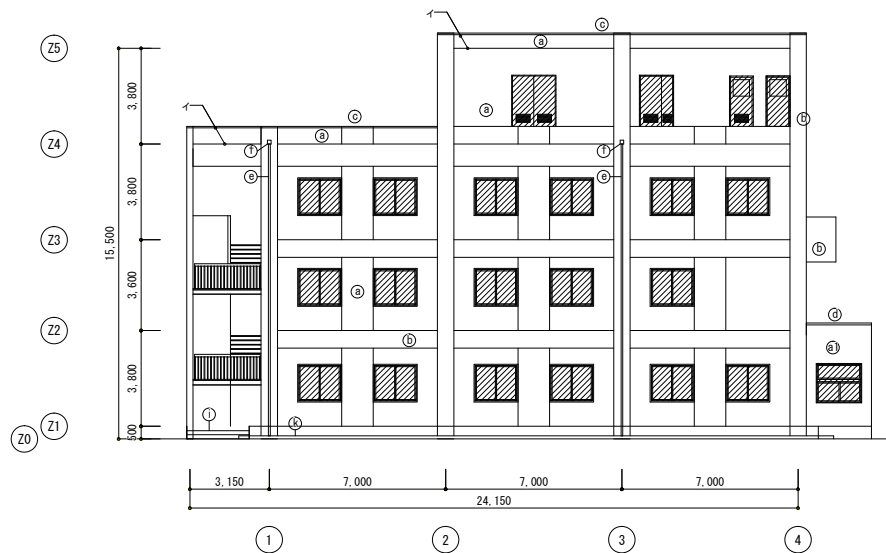
凡例
 ×××××× 撤去範囲



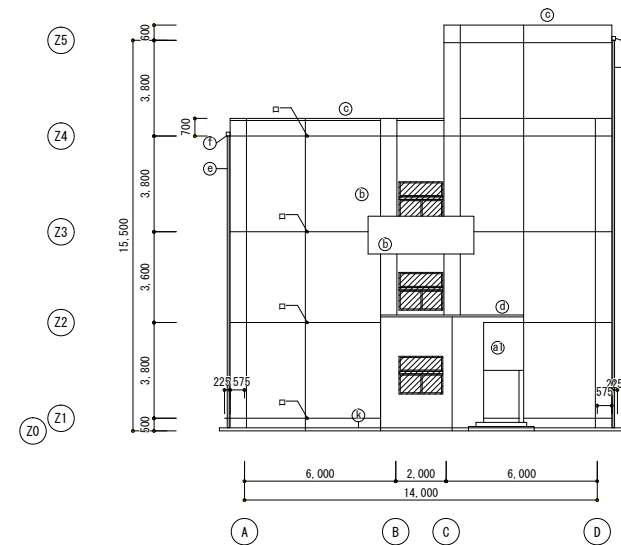
[illegible]

特記事項

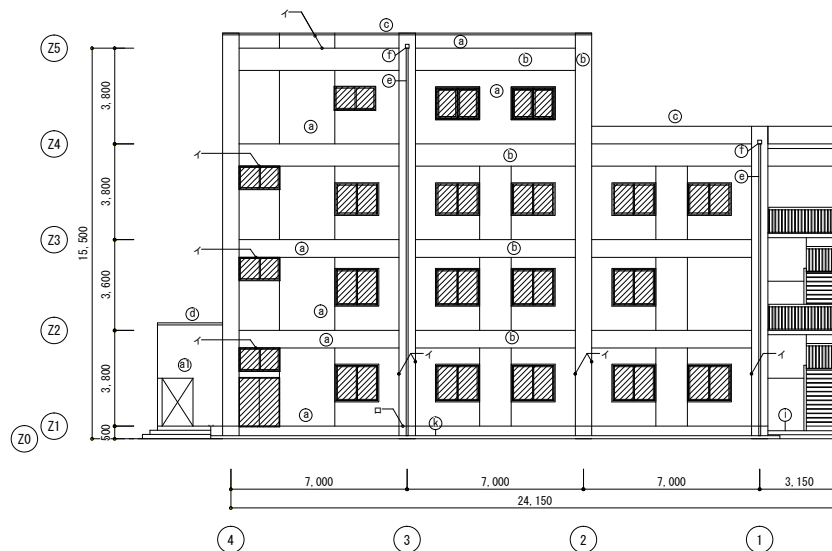
- 1) 改修範囲は外壁事前調査(目視、打診、マーキング、計測)を行う。
・クラック部改修については、樹脂注入工法(硬質型エポキシ樹脂)
欠損部改修については、エポキシ樹脂モルタル充填工法とする。
- 2) 既存塗膜の劣化部の除去、下地処理及び下地調整の工法は
高圧水洗工法(30Mpa以上)とする。



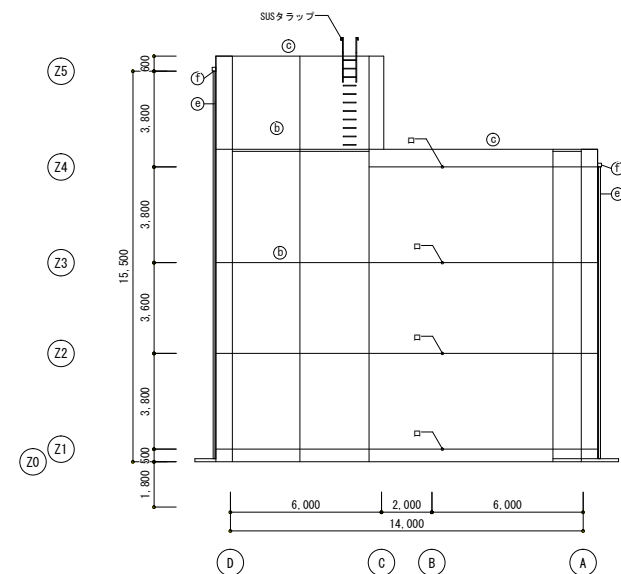
改修前南側立面図



改修前東側立面図

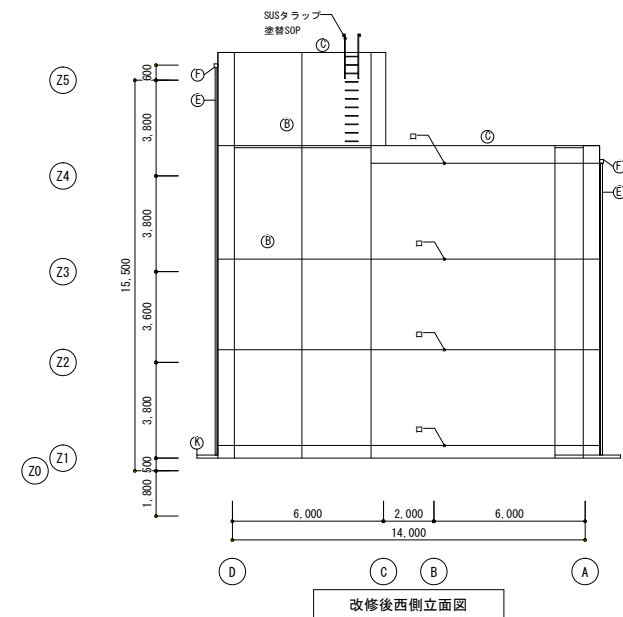
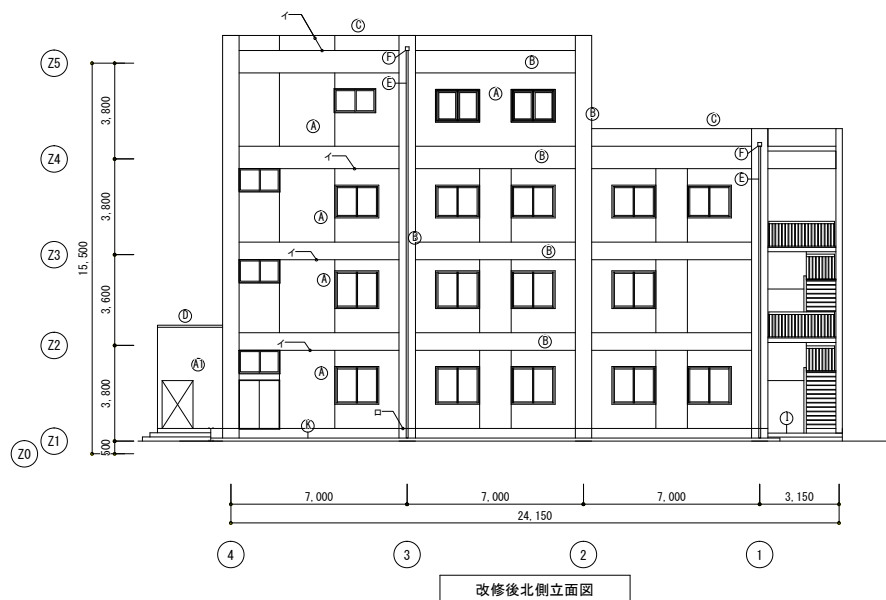
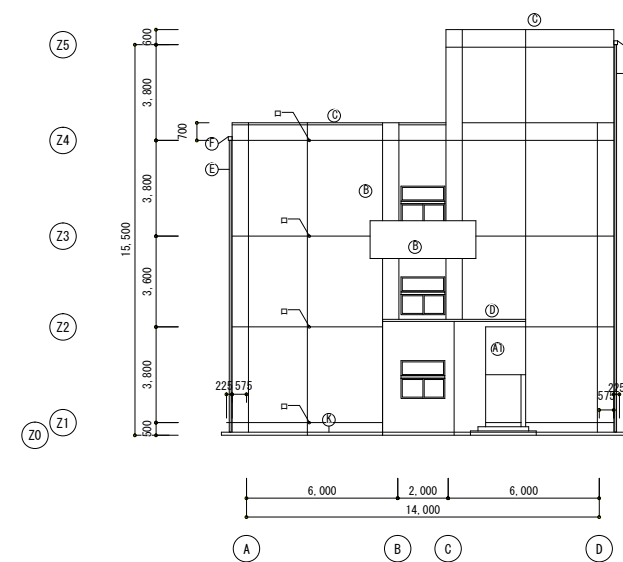
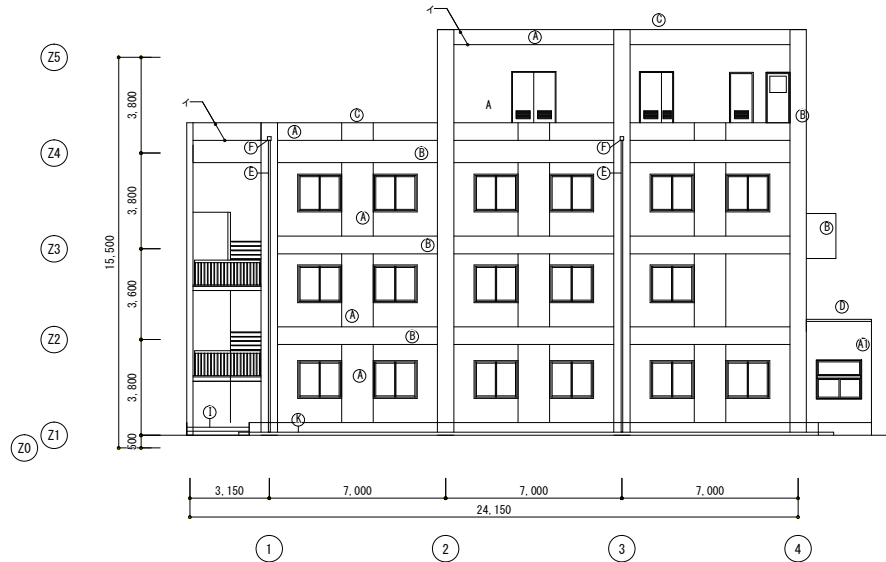


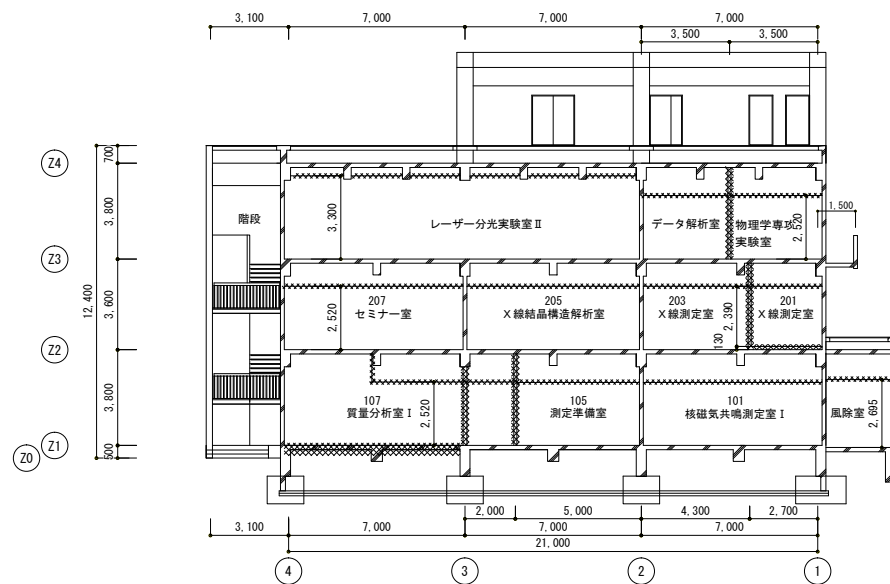
改修前北側立面図



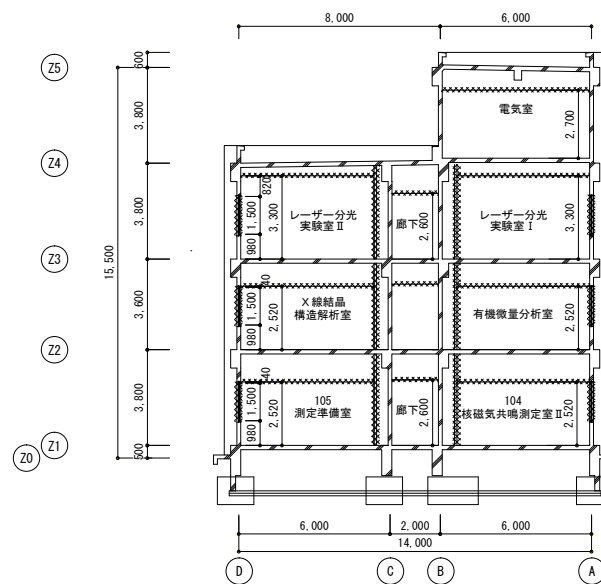
改修前西側立面図

凡例	内容	備考
記号		
(A)	磁器質タイル（小口平）	補修
(A)	磁器質タイル（小口平）	補修
(B)	既存塗膜高圧水洗工法処理+ 《可とう形改修塗材 R E》	
(C)	屋根：既存U防 + 《PF t=50 +S防》	
(D)	屋根：既存CK + 《S防》スラブ下《UF t=40》	
(E)	壁樋：《アルミ製 φ100》	
(F)	飾り樹：《垂鉛メッキ鉄板 SOP》	
(I)	既存M防 + 《U防》	
(K)	犬走り：既存CK 水洗い	
イ	《伸縮目地（PS-2、15×10）》	打替
ロ	《伸縮目地（PS-2、107×10）》	打替

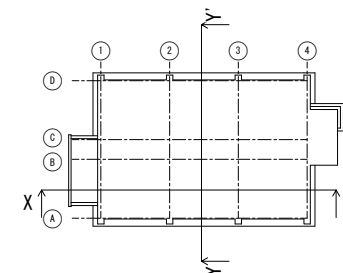




改修前断面图X-X'

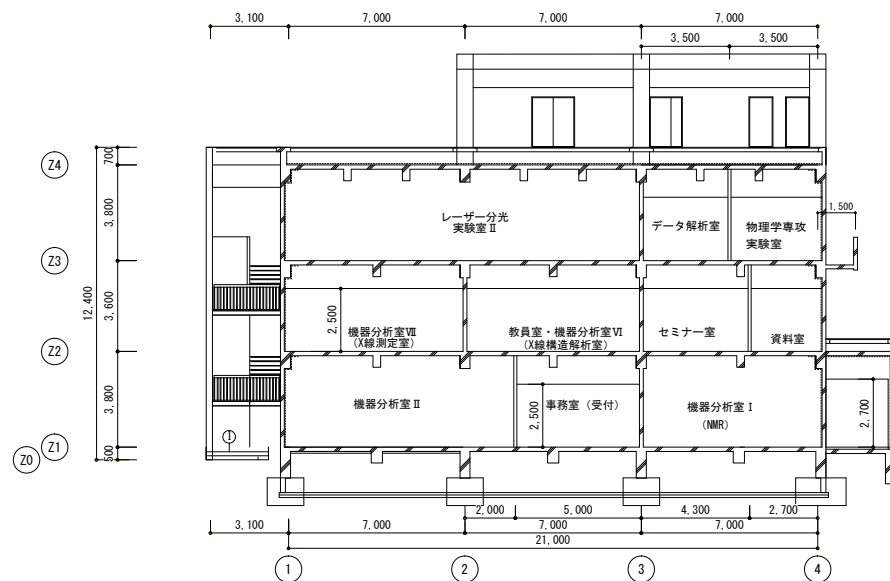


改修前断面图Y-Y'

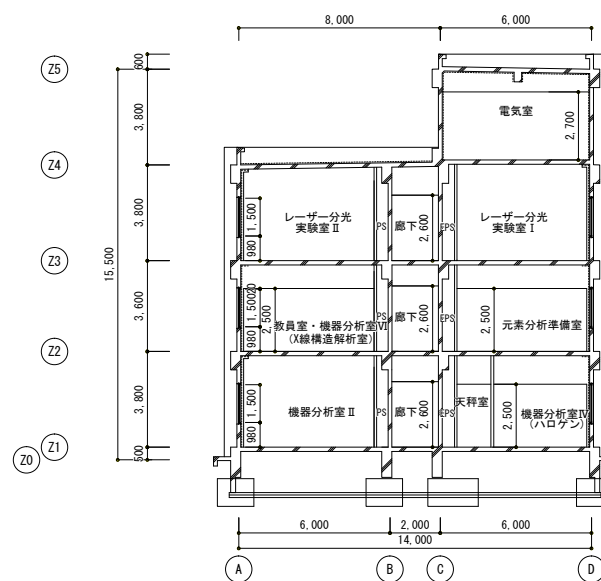


改修前凡例

XXXXXX : 撤去範囲を示す



改修後断面図X-X'



改修後断面図Y-Y'

